

● 第 I 章 アンケート調査及びヒアリング調査 ●

1. アンケート調査
2. ヒアリング調査

1. アンケート調査

(1) 実施概要

① 調査の趣旨

- ・荻窪駅は一日あたり約 24 万人が利用する区内最大の交通結節点であり、駅周辺に業務・商業施設が集積する杉並区の中心的な拠点である。
- ・バリアフリー化の進展や、平成 23 年 3 月には新しい北口駅前広場がオープンするなど駅周辺の整備が行われてきているが、一方で、区内 JR 駅で唯一高架化されておらず地域の南北分断が見られることなどの構造的な課題を抱えている。
- ・今回のアンケート調査は、荻窪駅周辺にお住まいの方々のニーズを広く把握するとともに、特に中央線沿線居住者を中心とした荻窪駅周辺以外にお住まいの方々からも、幅広く意見を聴取し、荻窪駅周辺の今後の魅力あるまちづくりに活用していくことを目的に、各種アンケートを実施した。

② アンケートの概要

- ・荻窪駅周辺内外から広く意見を聴取するため、以下の 4 種類のアンケートを実施した。

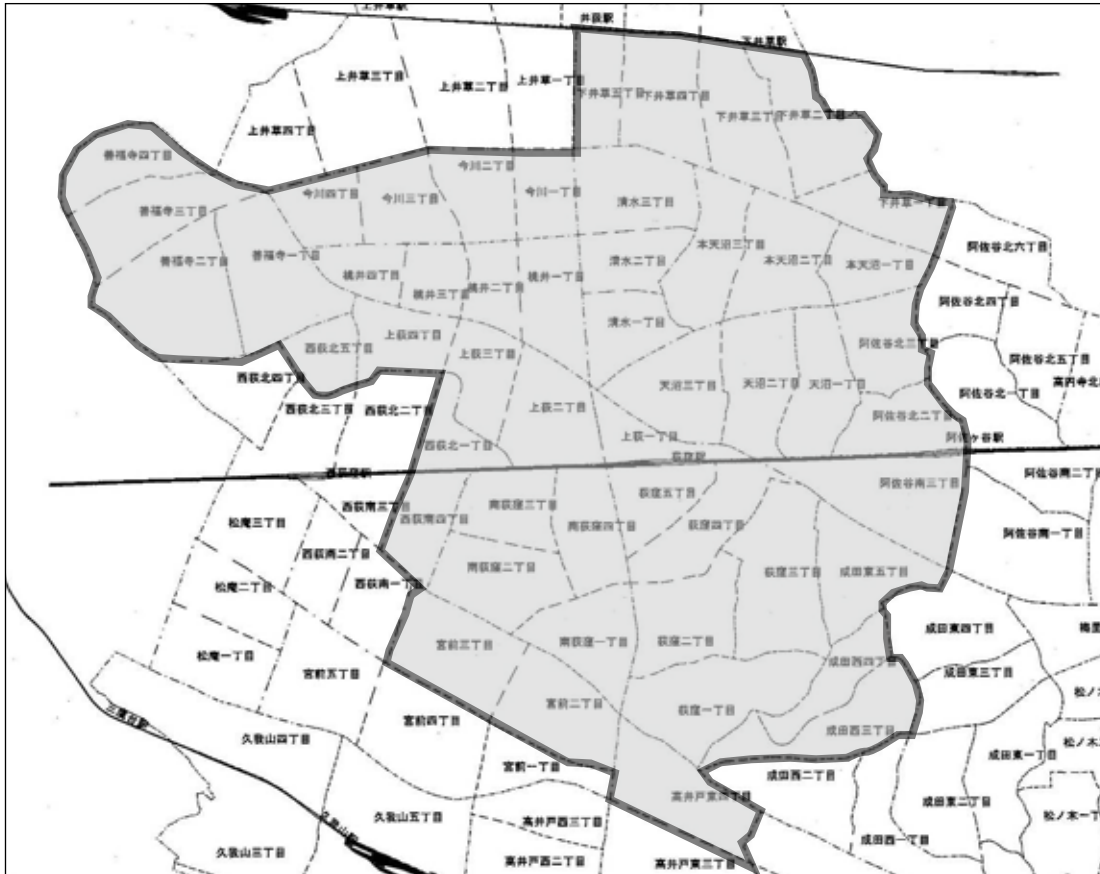
	住民アンケート	来街者アンケート	Web アンケート	商業者・事業者アンケート	
目的	自分の街をどのように評価し、どのような問題意識を持ち、どのような部分に満足しているのかを把握する	「荻窪音楽祭」開催日に荻窪駅前及び杉並公会堂に来ていた方々と、平日に荻窪駅前に来ていた方々の荻窪駅周辺に対するイメージや評価等を把握する	特に荻窪駅周辺以外の中央線沿線にお住まいの方々に注目し、外から見た荻窪駅周辺のイメージ、評価等を把握する	荻窪駅周辺の商店街の方々が、荻窪駅周辺地区を営業の場としてどのように評価し、どのような問題意識を持っているのかを把握する	
調査期間	平成 23 年 10 月 22 日～11 月 4 日	[イベント開催日] 平成 23 年 11 月 19 日 (土)、20 (日) [平日] 11 月 25 日 (金)	平成 23 年 10 月 24 日～10 月 31 日	[荻窪地区発展協議会加盟商店会] 平成 23 年 10 月 31 日～11 月 25 日 [荻窪地区発展協議会未加盟商店会] 11 月 16 日～11 月 30 日	
対象者	荻窪駅を中心とした地域の 18 歳以上の居住者	調査対象日に荻窪駅周辺を訪れた人	荻窪駅周辺を除く中央線沿線駅周辺地域の居住者	荻窪駅周辺の 13 商店会において営業している商業者・事業者	
抽出方法	対象地域から 4,000 名を無作為抽出し、郵送により調査票の配布・回収を実施	イベント開催日には荻窪駅前及び杉並公会堂 平日には荻窪駅において街頭で聞き取り調査を実施	リサーチ会社に委託し、対象者となり得るモニターを抽出し、ネットを介して調査を実施。	荻窪地区発展協議会及び各商店会より調査票を直接配布し、郵送により回収を実施	
回答数	配布数	3,980 ※ 4,000 配布したうち 20 が返送されてきたため	—	907	
	有効回答数	1,437	253	328	248
	回答率	36.1%	—	—	27.3%

(2) 回答者の属性

《住民アンケート》

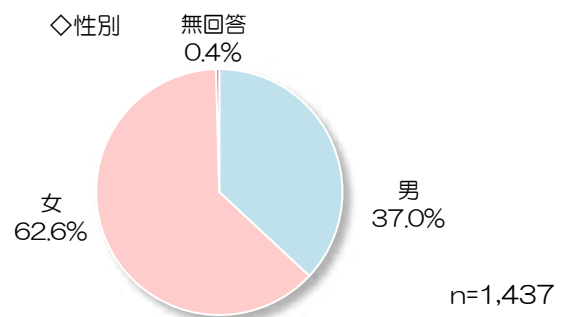
① 調査対象範囲

・調査対象範囲は次の地図に示すとおりである。



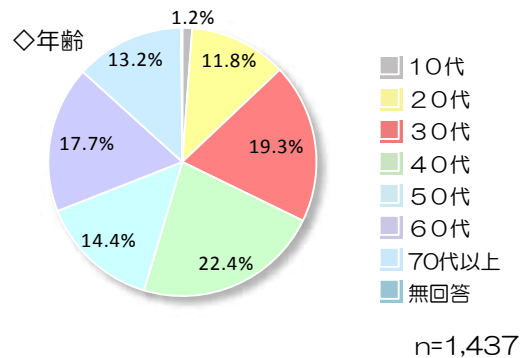
② 性別

・男性が37.0% (531人)、女性が62.6% (900人)、無回答が0.4% (6人)となっており、回答者数の約6割が女性となっている。



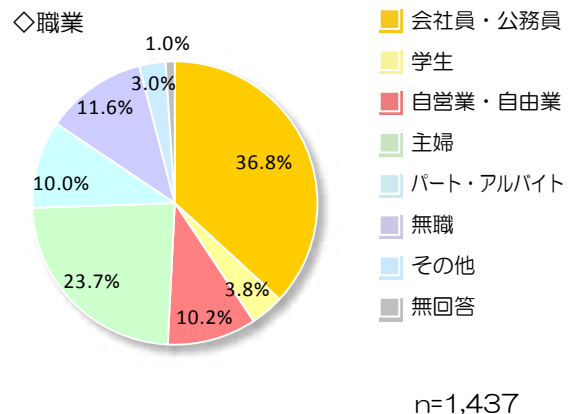
③ 年齢

- ・40代が22.4%（322人）で最も多く、次いで、30代が19.3%（277人）、60代が17.7%（254人）となっている。
- ・30代、40代を中心に70代まで比較的偏りない年齢で構成された回答者を得ている。



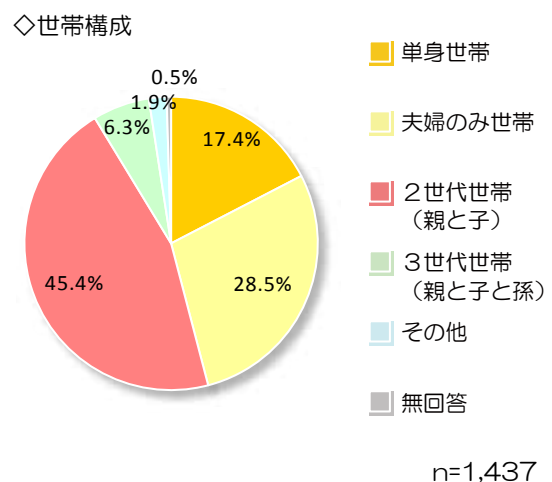
④ 職業

- ・会社員・公務員が36.8%（529人）で最も多く、次いで、主婦が23.7%（340人）、無職が11.6%（166人）となっている。



⑤ 世帯構成

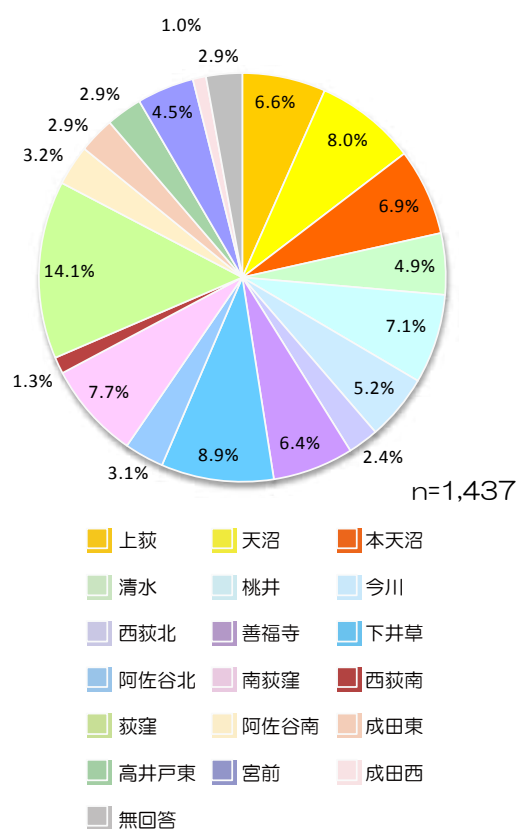
- ・親と子の2世代世帯が45.4%（652人）で最も多く、次いで、夫婦のみ世帯が28.5%（410人）、単身世帯が17.4%（250人）となっている。
- ・2世代以上の多世代世帯が約半数を占めた。



⑥ 居住地

- ・荻窪が14.1%（203人）で最も多く、次いで、下井草が8.9%（128人）、天沼が8.0%（115人）となっている。
- ・今回対象となった18町における回答率がそれぞれ同程度で、全ての地域から比較的偏りなく回答者を得ている。
- ・荻窪駅の北口、南口の別でみると、北口が59.6%（856人）、南口が37.6%（540人）となっている。調査対象範囲の町丁目が北口の方が多いため、回答者も北口の居住者が多い。

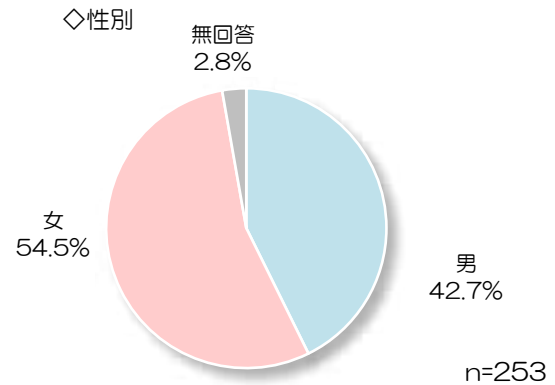
◇居住地



《来街者アンケート》

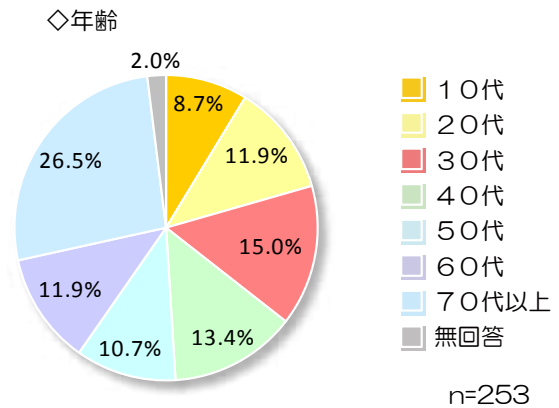
① 性別

- ・男性が42.7%（108人）、女性が54.5%（138人）、無回答が2.8%（7人）となっており、回答者数の約5割強が女性となっている。



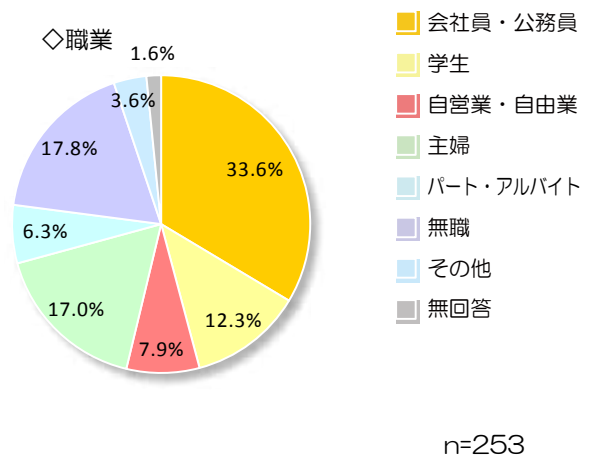
② 年齢

- ・70代以上が26.5%（67人）で最も多く、次いで、30代が15.0%（38人）、40代が13.4%（34人）となっている。
- ・住民アンケート、Webアンケートとは違い、70代の占める割合が高くなっている。



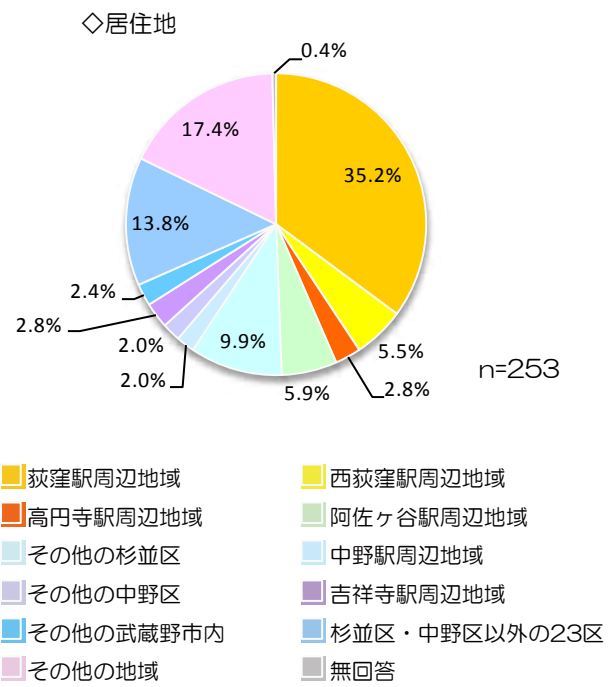
③ 職業

- ・会社員が33.6%（85人）で最も多く、次いで、無職が17.8%（45人）、主婦が17.0%（43人）となっている。



④ 居住地

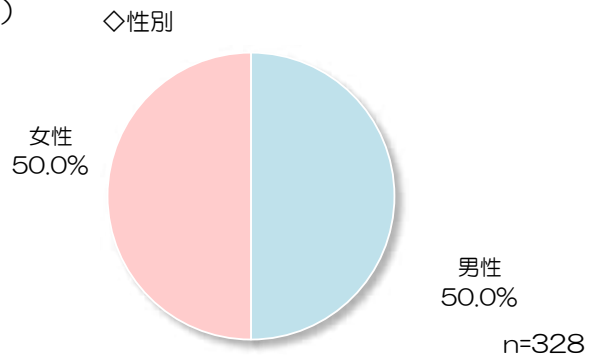
- ・ 荻窪駅周辺地域が 35.2% (89 人) で最も多く、次いで、その他の地域が 17.4% (44 人) となっている。
- ・ 荻窪駅周辺地域を含めた杉並区内から来街した人は、約 6 割を占めている。



《Webアンケート》

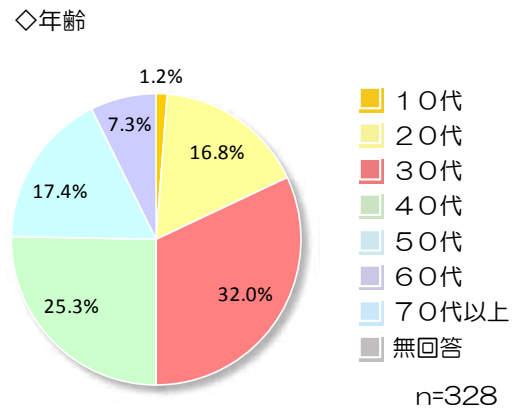
① 性別

- ・男性、女性ともに50.0%（164人）と同数となっている。



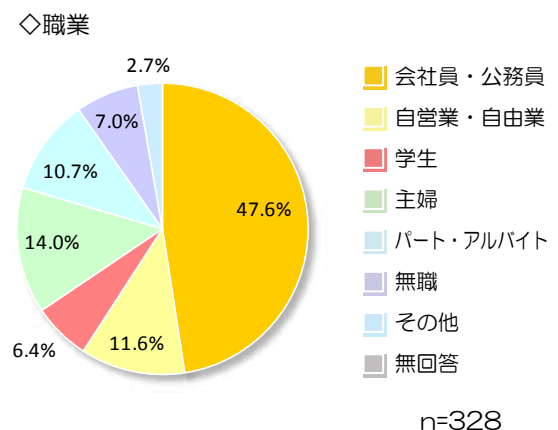
② 年齢

- ・30代が32.0%（105人）で最も多く、次いで、40代が25.3%（83人）、50代が17.4%（57人）となっている。
- ・30代、40代を中心とした回答者という点では、住民アンケートと同様である。
- ・ただし、Webアンケートでは住民アンケートに比べ、20代の占める割合が高く、60代以上の占める割合が低くなっている。



③ 職業

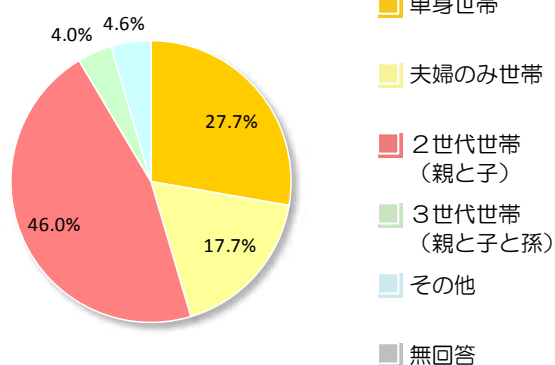
- ・会社員・公務員が47.6%（156人）で最も多く、次いで、主婦が14.0%（46人）、自営業・自由業が11.6%（38人）となっている。



④ 世帯構成

- ・親と子の2世代世帯が46.0%(151人)で最も多く、次いで、単身世帯が27.7%(91人)、夫婦のみの世帯が17.7%(58人)となっている。
- ・住民アンケート同様、2世代以上の多世代世帯が約半数を占めた。

◇世帯構成

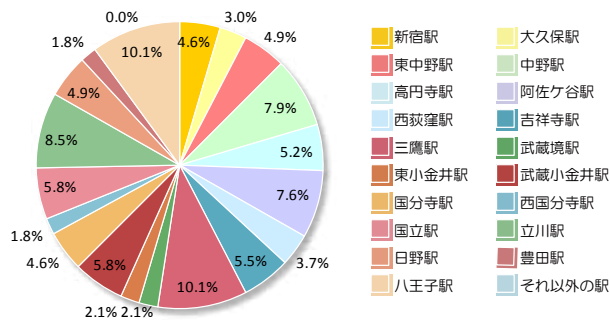


n=328

⑤ 居住地

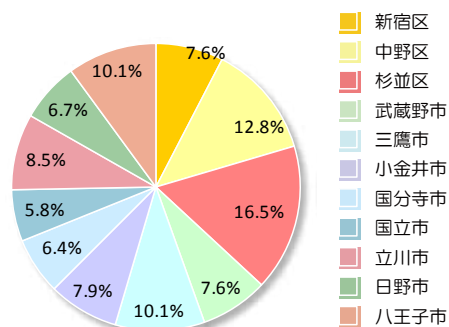
- ・三鷹駅周辺地域及び八王子駅周辺地域が10.1%(33人)で最も多く、次いで、立川駅周辺地域が8.5%(28人)となっている。
- ・都市別にみると、杉並区が16.5%(54人)で最も多く、次いで、中野区が12.8%(42人)、八王子市及び三鷹市が10.1%(33人)となっている。
- ・その他の都市についても6%~8%となっており、新宿区から八王子市まで、中央線沿線の各都市から比較的偏りなく回答者を得ている。

◇居住地



n=328

◇居住地(参考:都市別居住地域)

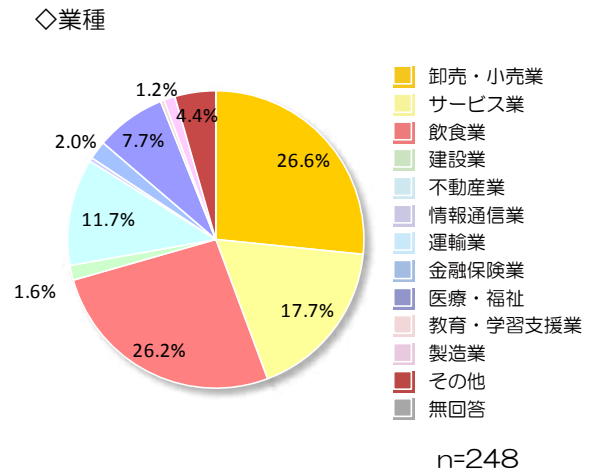


n=328

《商業者・事業者アンケート》

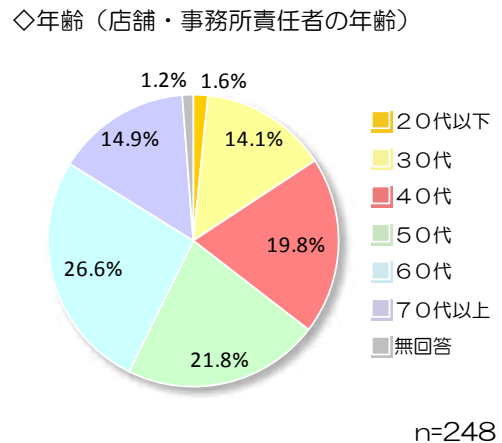
① 業種

- ・卸売・小売業が26.6%（66件）、飲食業が26.2%（65件）、サービス業が17.7%（44人）となっている。
- ・卸売・小売業、サービス業及び飲食業に従事している者を商業者、その他の業種に従事している者を事業者とみると、商業者は70.6%（175件）、事業者は29.4%（73件）となっている。



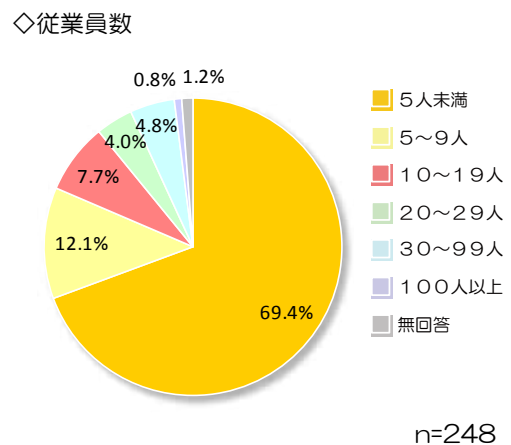
② 年齢（店舗・事務所責任者の年齢）

- ・60代が26.6%（66人）で最も多く、次いで、50代が21.8%（54人）、40代が19.8%（49人）となっている。
- ・60代、50代を中心に30代から70代まで比較的偏りない年齢で構成された回答者を得ている。



③ 従業員数

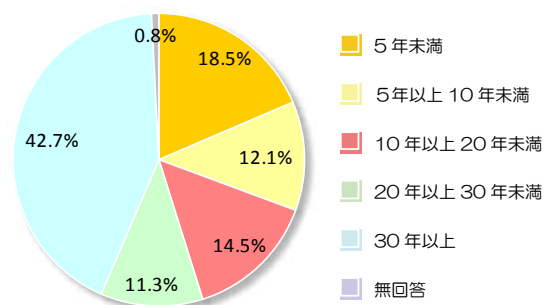
- ・5人未満が69.4%（172件）で最も多く、次いで、5～9人が12.1%（30件）となっており、約8割が9人以下の従業者。



④ 営業年数

- ・ 30年以上が42.7%（106件）で最も多く、次いで、5年未満が18.5%（46件）となっている。
- ・ 比較的長く当地で営業を続けている店舗・事業所が多い。

◇営業年数

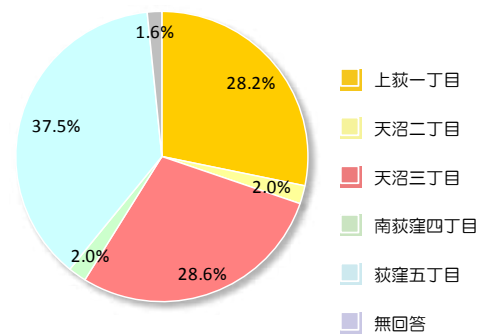


n=248

⑤ 店舗・事業所の場所

- ・ 荻窪駅南口直近の荻窪五丁目が37.5%（93件）で最も多く、次いで、北口直近の天沼三丁目が28.6%（71件）、上荻一丁目28.2%（70件）となっている。
- ・ 荻窪駅北口周辺地区（上荻、天沼）、南口周辺地区（南荻窪、荻窪）の別で見ると、北口周辺地区が58.9%（146件）、南口周辺地区が41.1%（102件）となっている。

◇店舗の場所



n=248

《全アンケートの回答者属性のまとめ》

① 住民・来街者・Web アンケート

- ・全体的にやや女性の方が多く、30代、40代を中心とした年齢構成となっている。
- ・来街者アンケート（基本的には聞き取り調査）では70代が多く、Webアンケート（インターネットにて回答）では20代が多くなっている。
- ・職業は会社員と主婦が多く、それらの合計が回答者の約6割を占めている。
- ・住民アンケートの回答者の居住地は、北口が南口よりもやや多くなっている。
- ・来街者アンケートの回答者の居住地は、杉並区内が約6割を占めている。

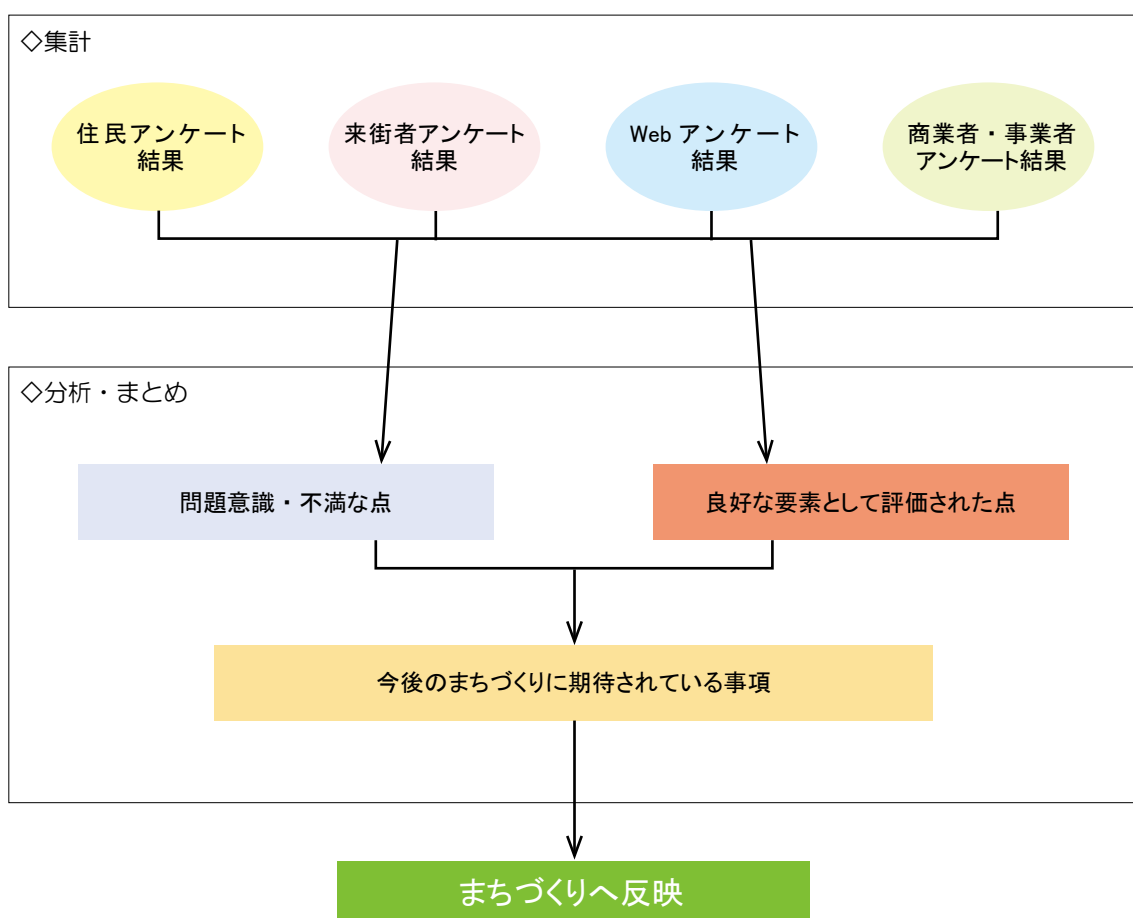
② 商業・業務アンケート

- ・60代、50代を中心とした回答者で構成されており、住民アンケート等よりは、やや年齢が高くなっている。
- ・商業者は7割、事業者は3割となっており、商業者の回答が多い。
- ・住民アンケートと同様に、北口周辺地区の店舗等の方が南口周辺よりもやや多くなっている。

	住民アンケート	来街者アンケート	Web アンケート	商業者・事業者アンケート
性別	男性約4割、女性約6割		男性、女性ともに半数ずつ	—
年齢	30代、40代を中心とした年齢構成			60代、50代を中心に30代から70代まで比較的偏りない年齢
	どの年代ともに比較的偏りなく回答	70代以上が最も多い	左記2つのアンケートに比べ20代の占める割合が多い	
職業 (業種)	会社員と主婦の合計が約6割 (住 民：会社員36.8%、主婦23.7% 来街者：会社員33.6%、主婦17.0% Web：会社員47.6%、主婦14.0%)			商業者が約7割、事業者が3割
居住地 (店舗の場所)	北口周辺地区の住民が約6割、南口周辺地区の住民が約4割	荻窪駅周辺地域を含めた杉並区内からの来街者が約6割	杉並区が約2割、中野区、八王子市、三鷹市が約1割	北口周辺地区の店舗・事業所が約6割、南口周辺地区が約4割

(3) 結果の分析・まとめ

- ・ アンケート結果より荻窪駅周辺に対する「問題意識・不満な点」と「良好な要素として評価された点」を整理し、今後のまちづくりに期待されている事項について分析・まとめを行う。
- ・ 分析・まとめを行うにあたり、アンケートへの設問に対する回答だけではなく、自由記入欄に記載された皆さんの意見・アイデア等についても整理・集約し、結果に反映している。



① 住民・来街者・Web アンケート結果 ～問題意識と評価された点の整理～

- ・荻窪駅周辺に対する「問題意識・不満な点」と「良好な要素として評価された点」を整理すると、次のような事項があげられる。

問題意識・不満な点（詳細は 16～30 頁）

・「鉄道や道路による市街地の分断」に関する問題意識が高く、まちの発展を妨げ、生活利便性を損なう要因として考えられていることが読み取れた。その他、駅周辺の交通機能や商業集積、まちのイメージ等に関する問題点があげられた。

- 鉄道や幹線道路による市街地の分断
- 駅及び駅周辺の交通機能や利便性の不足
- 買い物や飲食の機会の一箇所集中によるまちの回遊性の不足
- 日常生活を支える店舗や個性的な店舗等の不足
- 交通利便性の高さの活用不足（乗換駅としてのイメージ）
- 特徴がなく中途半端なまちのイメージ

良好な要素として評価された点（詳細は 31～32 頁）

・乗り換え駅としての「交通利便性のよさ」や「良好な住環境」に対する評価が高く、現状のままで満足しているという意見も多くみられた。

- 交通結節点としての利便性の高さ
- 落ち着いたある良好な住環境

問題意識・不満な点

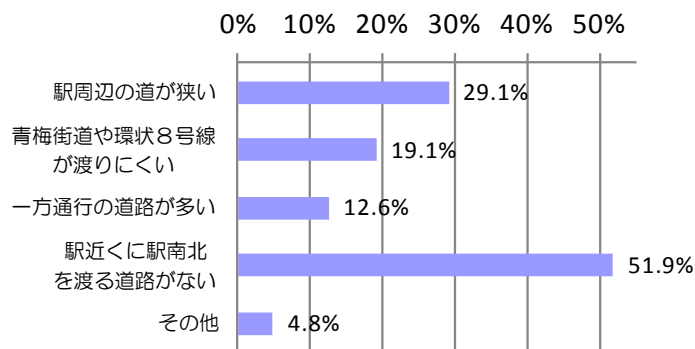
●鉄道や幹線道路による市街地の分断

- ・荻窪駅周辺は JR 中央線が東西に横たわり、高架化もされていないことから、横断する施設はあるものの、南北の往来に日常的に不便を感じている人が多い。
- ・また、鉄道による分断よりは少ないものの、青梅街道、環状8号線で分断され、まちとしての拡がり限定されていると感じている人もいる。

[鉄道による南北の分断の問題点]

- ・駅南北の移動について、「街の発展を妨げている」、「これらの不便さを改善することで北口と南口の一体感や賑わいの創出、街の発展につながるのではないか」等、不満の声が多くあげられていた。
- ・駅構内の自由通路についても、「フラットではないため、子ども連れや高齢者には大変不便」という意見がみられた。
- ・特に、「自転車での南北の往来が不便」という指摘が多く、「地下通路は不便なので出かけるのが億劫」という意見もあり、通行が不便なため、居住地側の地区のみを利用し、行ってみたいけれども駅の反対側にはあまり行かないという人も多くいることが推測できる。
- ・南北の往来の不便さが、南北一体的なまちづくりやまちとしての拡がり・回遊性、商店街の活性化等を阻害している可能性は否定できないものと思われる。
- ・また、各アンケート結果をみると、荻窪駅を利用する際に不便だと感じることの中で「南口と北口の行き来がしにくい」は、住民・Web アンケート共に約5割、来街者アンケートでは約2割の回答者から指摘があったことからみても多くの人が不便さを感じていることがわかる。

◇駅周辺で不満に感じていること（住民アンケートより）



※複数回答（回答者数 1,437 人）

- ・居住地別の鉄道による南北分断の不満の感じ方の違いをみると、居住地の違いによる不満に大きな違いは見られないが、「駅近くに南北をわたる道路がない」ことに不満を感じているのは、南口の居住者のほうがわずかに多い。

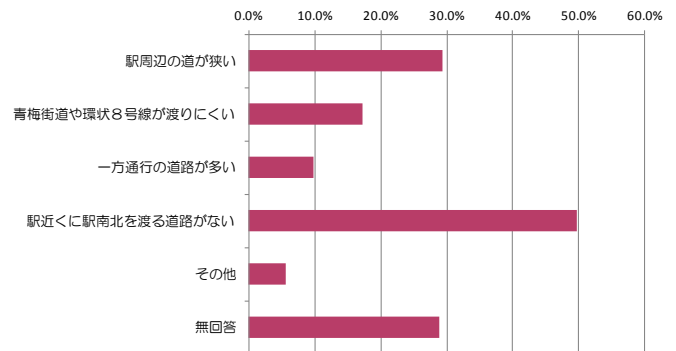
◇居住地別駅周辺に関する不満（住民アンケートより）

駅北口の地域

※複数回答（回答者数 856人）

選択項目	人数	構成比
駅周辺の道が狭い	251	29.3%
青梅街道や環状8号線が渡りにくい	148	17.3%
一方通行の道路が多い	84	9.8%
駅近くに駅南北を渡る道路がない	426	49.8%
その他	48	5.6%
無回答	247	28.9%

単位（人）

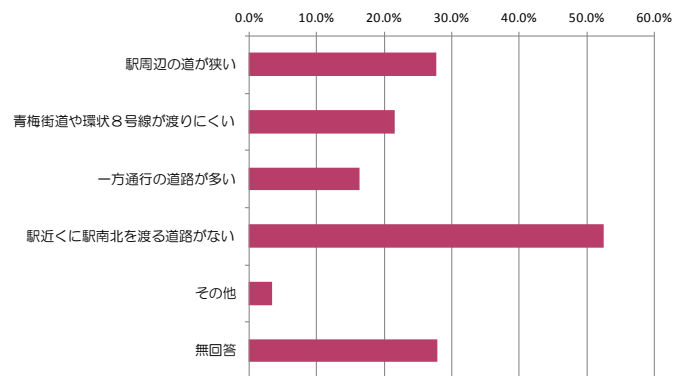


駅南口の地域

※複数回答（回答者数 540人）

選択項目	人数	構成比
駅周辺の道が狭い	161	27.7%
青梅街道や環状8号線が渡りにくい	125	21.5%
一方通行の道路が多い	95	16.4%
駅近くに駅南北を渡る道路がない	305	52.5%
その他	20	3.4%
無回答	162	27.9%

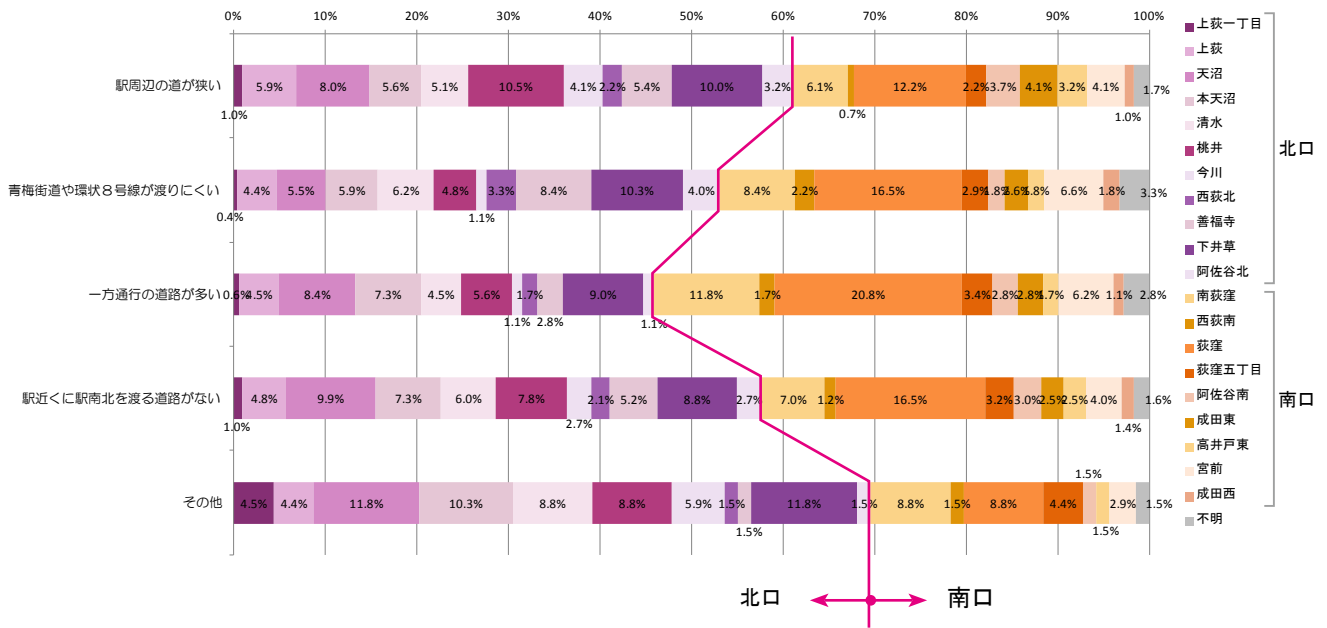
単位（人）



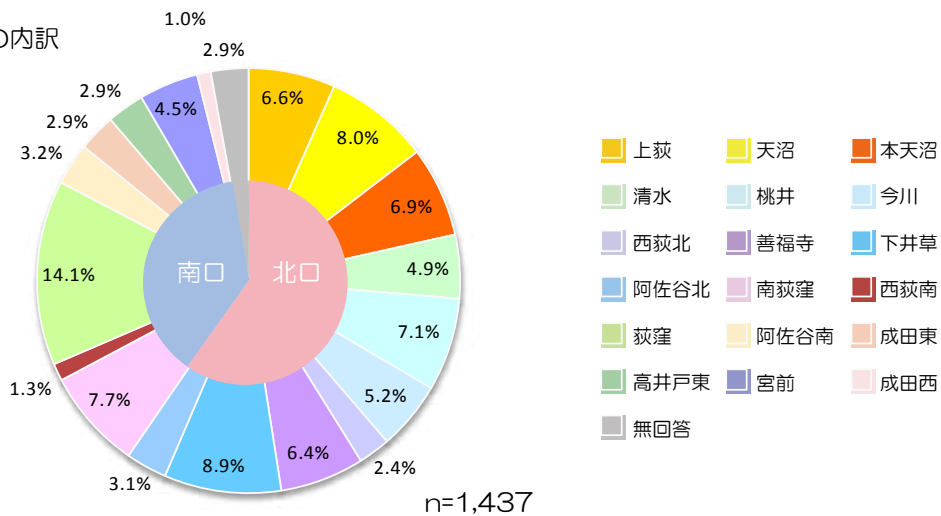
※複数回答（回答者数 1,437人）

居住地域	北口											南口								不明	
	上荻 1丁目	上荻	天沼	本天沼	清水	桃井	今川	西荻北	善福寺	下井草	阿佐谷北	南荻窪	西荻南	荻窪	荻窪 五丁目	阿佐谷南	成田東	高井戸東	宮前		成田西
駅周辺の道が狭い	4	24	33	23	22	43	17	9	22	41	13	25	3	50	9	15	17	13	17	5	7
青梅街道や環状8号線が 渡りにくい	1	12	15	16	17	13	3	9	23	28	11	23	6	39	8	5	7	5	18	5	9
一方通行の道路が多い	1	8	15	13	9	10	2	3	5	16	2	21	3	34	6	5	5	3	11	2	5
駅近くに駅南北を渡る道 路がない	7	35	72	53	45	57	20	15	38	64	20	51	9	111	23	22	18	19	29	11	12
その他	3	3	8	7	6	6	4	1	1	8	1	6	1	5	3	1	0	1	2	0	1
合計	14	81	115	99	70	102	75	35	92	128	45	110	19	171	32	46	41	41	65	15	41

単位（人）



◇居住地の内訳



n=1,437

◇自由意見より抜粋

- ・北と南の通行をもっとよくすると駅周辺を回れてよいと思う。
- ・駅が南北に分断されていて、南北への交通の便が悪い。フラットにしてほしい。これらが、荻窪の発展を妨げていると思う。今からでも遅くなければ、是非改善してほしい。
- ・他の駅に比べ、反対側に自転車で楽にふらりと行くのがとても大変でなかなか足が向かない。
- ・北口を中心に生活しています。南口もたまに行くとても楽しい店がたくさんあります。しかし南北が行き来しにくく面倒くさくてなかなか行く気がしません。
- ・線路に隔てられて南口と北口の利便性が悪い。自転車での行き来がしにくい。せっかくよい商店街が南北にあるのに、自分のエリアの方ばかり行くのはいつももったいないと思いつつ、反対側に行くのが面倒で足を延ばせない。
- ・駅地下通路を通らないと南北を行き来できないので、そこを改善してもらえれば、南口の使用頻度が高くなると思う。
- ・子供の頃から荻窪駅の北口側に住んでいるが北口の間人は南口側には行かないような気がします。(南の人は北口に来ない?)
- ・JRの高架が実現するか、しないのか。そこから街づくりの方向性が大きく変わると思う。北口と南口の分離感は両方の側に住んだが、とても大きかった。行きつけの薬局を探し直したくらいです。
- ・JRの高架化が無理なら南北をまたぐ広場を作り自転車で横断を可能とする連絡通路の設置と気軽に入りやすい商店、ファーストフード店のプロムナードを設け南口北口に分断状態の解消を図るべきと思う。
- ・北口側に住んでいるので、北口しかわからない。しかし、設問にもあったが、そもそも北口の住人が北口にしか行かないのは住宅圏のみならず南北が行きづらいからだと思う。もっと南口に行ける道を整備してほしい。

●駅及び駅周辺の交通機能や利便性の不足

- ・荻窪駅を利用する際に不満に感じていることを問う質問に対し、各項目毎に以下の問題点が指摘された。

[バス停に関する問題点]

- ・バス停の場所やバス路線をはじめ、待機時間や次にどのバスが先発するのか等、案内の不足に関する指摘が多かった。
- ・また、「駅からバス停まで屋根が繋がっていない」、「雨にぬれる」、「喫煙所が近くにあり不快」等、バス停の構造や環境に対する不満もみられた。

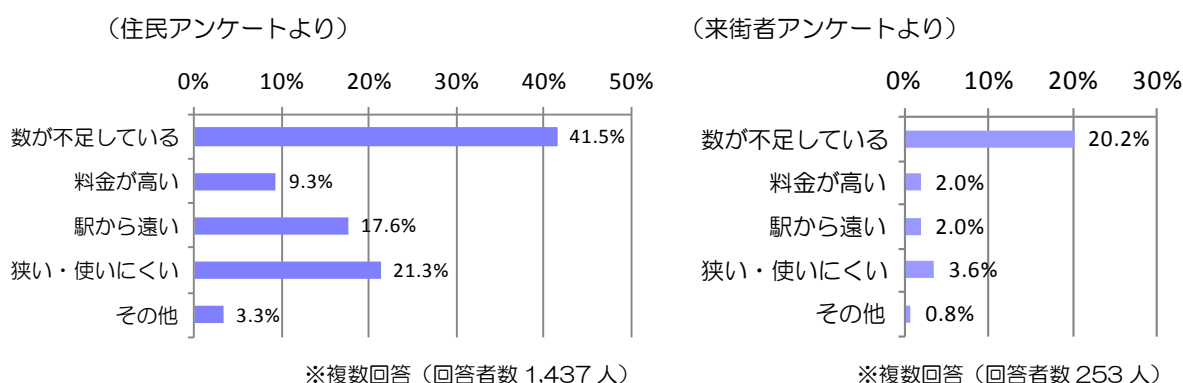
◇自由意見より抜粋

- ・北口バス乗り場(行き先)がわかりにくい。電光表示があるものの。
- ・北口の駅1階出口にバス停があり、人が並んで歩きにくい。
- ・青梅街道沿いのバス停を、北口駅前ロータリーに集約してください。歩道が狭く歩きづらい。
- ・北口のバス停(中村橋行き)のところのタバコ喫煙所ですが、バスを待っている人に煙がかかり、本当にいやな思いを何回もしております。どこか違う所に移すことは出来ないでしょうか。
- ・北口バス停周辺が作り直されるというので大変期待しましたが、出来上がった現在の状態にはがっかりしています。造園業者の意見を入れたり、区民一般から案を募るなどして花などを植えた潤いのある駅前が出来なかったのでしょうか。

[駐輪場に関する問題点]

- ・駐輪場については、「数が不足している」という回答が最も多く、住民アンケートでは約4割、来街者アンケートでは約2割の方が回答していた。
- ・また、「高齢者にとって自転車ラックに自転車を乗せるのが大変」、「3階に駐輪するのはきつい」等、駐輪場の形態に対して不便さを感じている人もいた。

◇駐輪場に関して不満に感じていること



[自転車に関する問題点]

- ・自転車のスピードの出し過ぎやマナーの悪さなどから、「歩道は自転車と歩行者が混在し、危険である」という指摘が多く、自転車は車道通行を徹底してほしい等の要望もみられた。
- ・また、放置自転車について、「歩行者の通行の妨げになっている」、「車いすの方や点字ブロックを利用している方等にとって大変迷惑」という指摘がみられた。

◇自由意見より抜粋

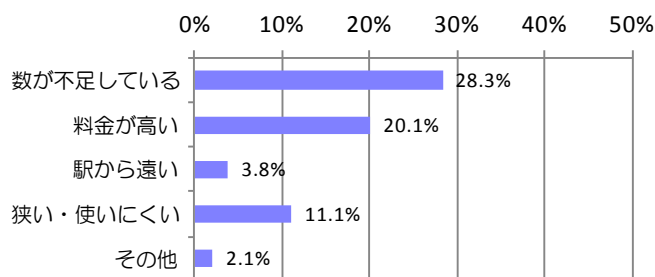
- ・駅周辺、特に青梅街道に自転車専用レーンがあるとよいと思います。
- ・自転車の数が増加している。歩道なのに自転車がスピードを出して通り抜けて行くのが危険だと思うので、自転車専用道路があると良いと思う。
- ・自転車道や使い易い駐輪場を作るなど自転車利用者のモデル地区になってほしい。駅南北を自転車でスムーズに行き来できるようにしてほしい。天沼八幡入口交差点で駅方向から右折してくる車と客待ちタクシーが錯綜していて、中央線を自転車でくると、交差点までたどりつくのがとても困難で危険。
- ・放置された自転車がが多いので、道幅は狭いし体の不自由な方が通行しづらいのでは？もう少し整備されると皆が住みやすい街づくりになると思います
- ・点字ブロック上の自転車が危ない。車いすの方が通れない等、駅前の歩道がひどい。自転車撤去の強化。
- ・歩道を走る自転車が危ない。平日の日でも感じるが、土曜、日曜日ともなると歩道はかなりの人たちであふれているのにかなりのスピードで自転車が走行している。とても身の危険を感じます。これは何とかして欲しいと思います。より安全な街になることを望みます。
- ・自転車のマナーが悪く、お年寄り等危険な所を何度も目にしました。・青梅街道沿い商店街の歩道を走る自転車が迷惑。買い物客が多い所で自転車に乗って移動したり道の上に駐輪したりするのをきちんと指導して止めさせてほしい。

〔駐車場に関する問題点〕

- ・ 駐輪場と同様に「駐車場の数が不足している」という指摘は、アンケートの結果、自由意見ともに最も多く、住民アンケートでは約 3 割、来街者アンケートでは約 1 割の方が回答していた。
- ・ 「駅前広場に送迎のための駐車場、駐車場があるとよい」、「バス優先の駅前広場だが車用のロータリーがあると乗り入れがスムーズになるのでは」というような意見もみられた。

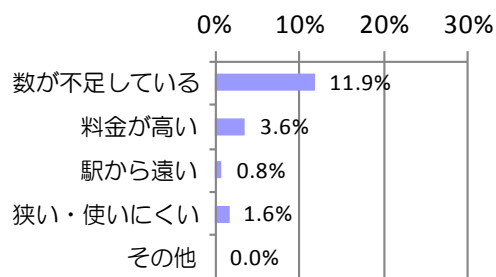
◇駐車場に関して不満に感じていること

(住民アンケートより)



※複数回答 (回答者数 1,437 人)

(来街者アンケートより)



※複数回答 (回答者数 253 人)

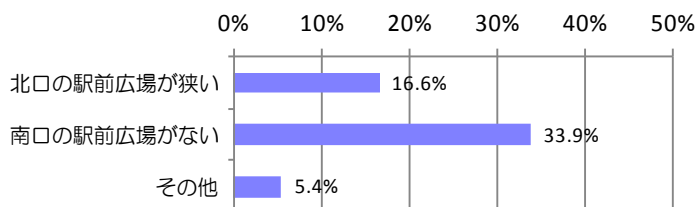
◇自由意見より抜粋

- ・ 自家用車の送迎時の駐車場、駐車場があると良い。
- ・ 駐車場が少なく、料金が低い。
- ・ 駅周辺にむき出しの駐車場があるが地下等に移して外見上すっきりさせてはどうか。
- ・ 車で駅周辺に行きづらいので周辺に駐車していて危ない。バス優先に作ってあるように感じる。車の乗り入れは絶対必要なので車用のロータリーがあると良い。車の乗り入れがスムーズで安全になる工夫がほしい。

[駅前広場に関する問題点]

- ・住民アンケートの結果からは、駅前広場に対する不満な点として「南口の駅前広場がない」という回答が約3割を占め、最も多かった。
- ・各アンケートの自由回答をみると、「駅前広場の雰囲気が悪い」、「緑が少ない」、「ごちゃごちゃしている」等の景観に関する問題点や、「案内板がなく分かりづらい」、「見通しが悪いためどこに何があるか分かりにくい」等の案内に関する問題点についての指摘がみられた。
- ・また、「自転車と混在して歩きづらい」、「禁煙を徹底して欲しい」、「ピラ配りを禁止にして欲しい」等、駅前の美化・マナー等に関する指摘もみられた。

◇駅前広場に関して不満に感じていること（住民アンケートより）



※複数回答（回答者数 1,437 人）

◇自由意見より抜粋

- ・駅周辺はごちゃごちゃしていて慣れていない人にしか分かりづらい。
- ・駅前広場の工事をしても思ったよりよくなっていない。ごちゃごちゃが解消されない。
- ・荻窪の顔となる駅前がもっと整備され、ランドマーク化されるといいと思いました。
- ・青梅街道を歩いていると「荻窪駅はどこですか」とよく聞かれます。バスの溜まっている向こうにありと言っても良くわからないようなので、大きな看板なり、はっきりさせてはいかがでしょうか。
- ・各施設の案内が分かりにくい。公共施設へのアクセスがわかる案内板の充実を期待する。
- ・あまりにもごちゃごちゃしていてわかりにくい印象があります。夜は特に近づきたくありません。見通しも悪く迷いやすいと思います。
- ・駅舎も駅周辺にも魅力的な施設がなく、のんびり散歩できる緑地もない。これが少しでも変われば、もう少し荻窪を利用するかもしれない。
- ・駅前広場は緑豊かな雰囲気あるスペースをつくってほしい。
- ・南口の歩道が狭く自転車とぶつかりそう。
- ・阿佐ヶ谷や高円寺のような駅周辺の広場がない。
- ・北口は歩道が分かりづらくバスにひかれそうになるなど危険が多いと思う。
- ・北口の汚い街並みを改善してほしい。新宿南口のサザンテラスのように綺麗になってほしい。パチンコ屋は路地裏か地下につくってほしい。高架によって駅の南北をつなげ、街路樹の多いゆったりとしたスペースになってほしい。噴水等、ほっと一息つける駅前になるとよいと思う。ごちゃごちゃしてなくて、スッキリ国立のようになると緑もあって良いと思う。
- ・北口のイメージがあまりよくない。清潔感がない。北口の整備をもっと進めてほしい。駅周辺に休憩する様な場所が少ない。もう少し高齢者に配慮した街づくりをしてほしい。
- ・「荻窪」の伝統とイメージに反した駅前地区の雑然とした統一感のなさは何とかならないものか
- ・南口駅前を情緒ある雰囲気に出来るといい。

[駅舎に関する問題点]

- ・「コンコース（通路）が狭い」、「バリアフリーが不十分」であることが問題点として指摘されている。
- ・各アンケートの自由回答をみると、「駅前広場の雰囲気暗い」、「天井が低く圧迫感がある」、「改札口が狭く歩けない」等の指摘があり、あまり良いイメージを持たれていないような声があがった。
- ・また、「エスカレーターやエレベーター、階段の設置」、「雨の日に床が滑りやすくなる」等の設備に関する指摘もあった。

◇自由意見より抜粋

- ・駅周辺や駅舎の雰囲気が暗く、美しくない。
- ・人口の増加に伴い、道幅の狭さが気になります。荻窪駅地下の改札口前もとても混雑しています。利用者数に見合う施設の大きさが求められているように思います。
- ・天井が低く圧迫感がある。暗い。
- ・荻窪南口駅に下りのエスカレーターがあると助かります。エレベーターはありますが、反対側にあるので、横断して乗るようになりますので不便を感じております。
- ・北口駅の床が雨の日に滑りやすい。

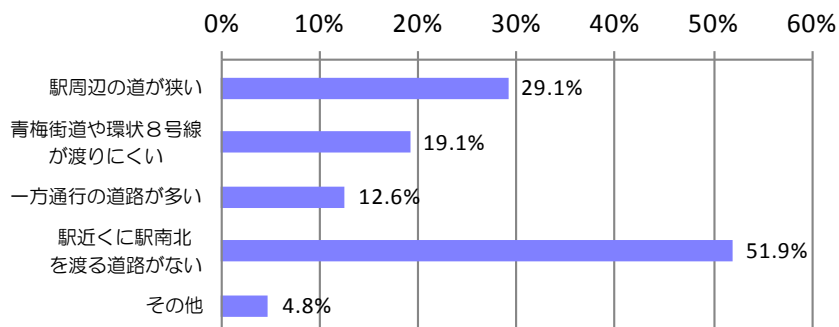
[駅周辺に関する問題点]

- ・住民アンケートでは、駅周辺の道路の狭さに対して約3割の方が不満に感じていると回答しており、歩行者と自転車の分離やガードレール、ミラーの設置等、安全性の向上が期待されている。
- ・特に青梅街道は交通量が多く、自転車・歩行者が多いため、歩道の拡充等に対する要望がみられた。

◇自由意見より抜粋

- ・北口（特に天沼通り）の道路の狭さやわかりにくさにびっくりする。
- ・バスの通る道はもっと広くし、歩道に柵を付けるなど安全に使えるように。
- ・青梅街道の歩道が危ない。自転車の通行量、徒歩の通行量が多くヒヤッとした。
- ・電線の地中化をお願いしたいです。自転車を使っていますが、電柱が邪魔だし、危ないと思います。それだけでも街は綺麗になるのではないですか。

◇駅周辺に関して不満に感じていること（住民アンケートより）



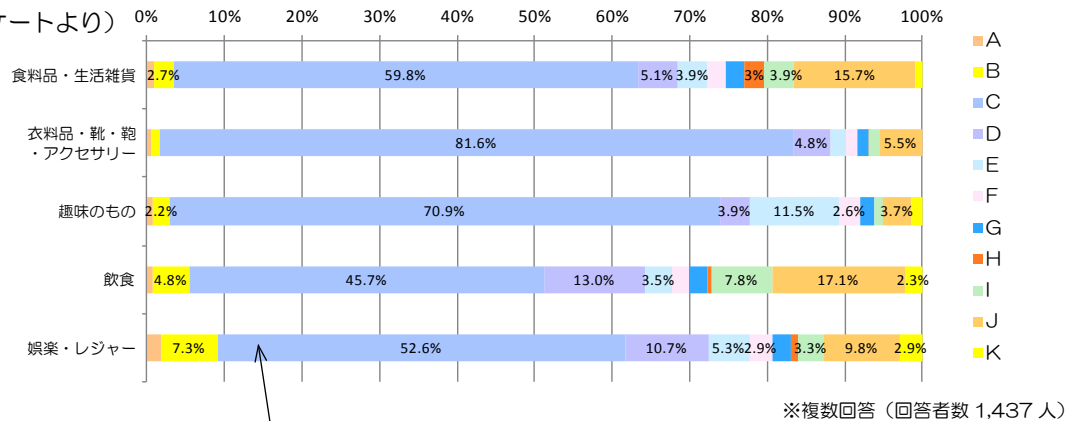
※複数回答（回答者数 1,437人）

●買い物や飲食の機会の一箇所集中によるまちの回遊性の不足

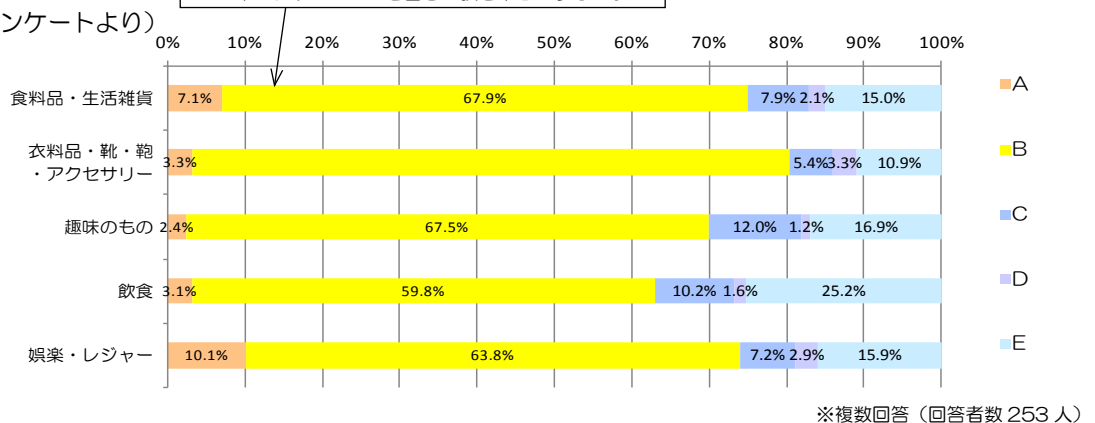
- ・住民及び来街者アンケートをみると、タウンセブン、ルミネを含む上荻を中心としたエリア（住民アンケートではCエリア、来街者アンケートではBエリア）がよく利用されており、住民及び来街者アンケートともに6割前後がこのエリアで買い物、飲食等を行っている。
- ・一方、その他のエリアで買い物、飲食等で利用する人は少なく、おのおののエリアでは1割前後となっており、大きな差がある事が分かる。
- ・このような結果から、現在の荻窪駅周辺は色々な場所で買い物や飲食をしながら歩いて楽しむような滞在時間が長いまちにはなっていないと推測できる。

◇目的別よく利用する場所

（住民アンケートより）



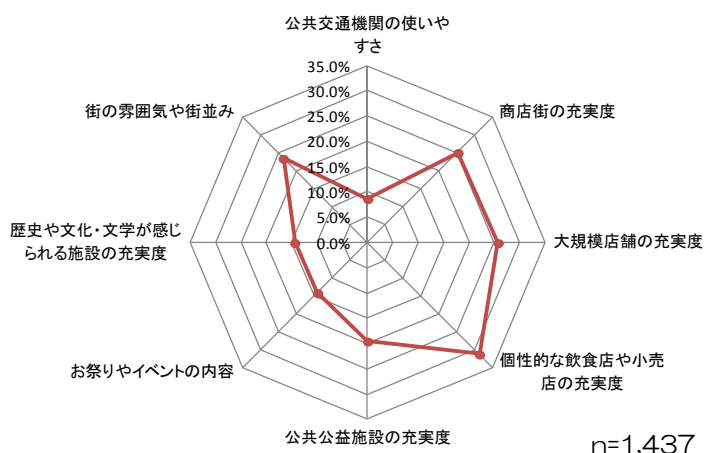
（来街者アンケートより）



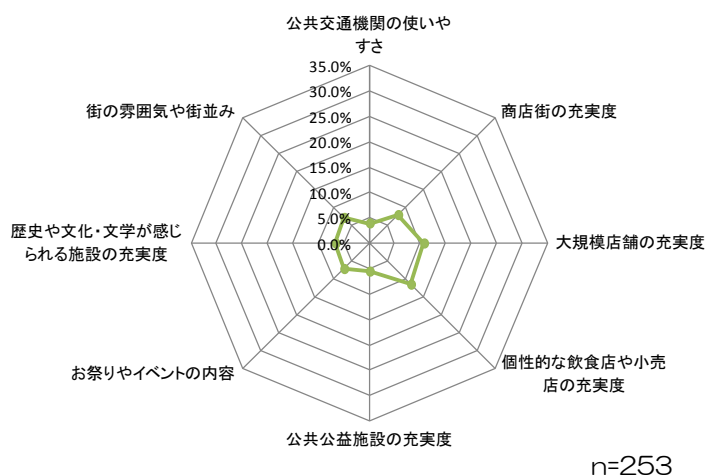
●日常生活を支える店舗や個性的な店舗等の不足

- ・ 荻窪駅周辺の施設・サービスに対する評価のうち、「不満」と回答したものに注目し、各アンケートごとにどの項目で不満度が高いかをみると、各アンケートにより、異なる結果が出た。
- ・ 住民アンケートでは、「商店街の充実度」や「個性的な飲食店や小売店の充実度」、「大規模店舗の充実度」に対して不満が多くみられた。
- ・ 住民は、買い物ができる施設や魅力的な飲食店・小売店の不足等の荻窪駅周辺の商業環境に不満を感じている。
- ・ 前述したように、来街者アンケートにおいては、調査方法にも影響されたものと思われるが、各項目とも不満度は低い。
- ・ Web アンケートによる、外部から見た不満度は「大規模店舗の充実」に集中した。
- ・ 自由意見からみると、大規模店舗等は「必要ない」と感じている回答者と「必要」と感じている回答者がほぼ同数となっている。ただし、大規模店舗等を「必要」と感じている回答者の多くが、大型のスーパーをあげており、日用品・食料品等を扱う店舗の充実を望んでいるものと思われる。

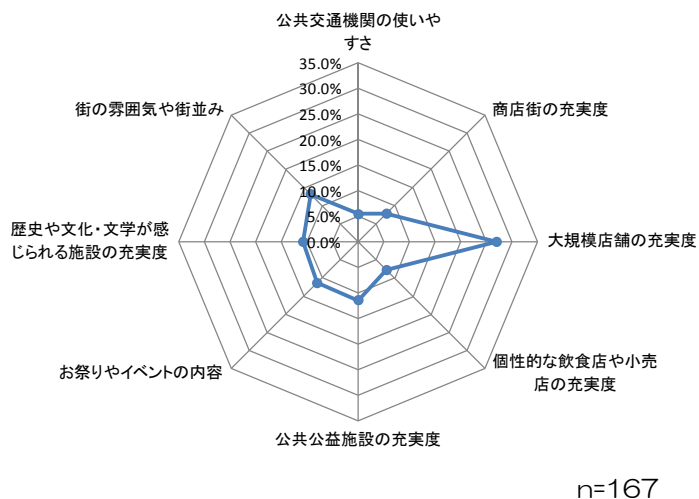
◇住民アンケートにおける不満度



◇来街者アンケートにおける不満度



◇Web アンケートにおける不満度



- ・このことから、住民は、日常的な買い物が出来る施設の更なる充実を望んでいることが分かる。
- ・一方、外部からみると、荻窪駅周辺に買い物に出掛けたくなるような大規模店舗の充実度に欠ける印象があるものと推測できる。Web アンケートにおいては、今後充実した方がよいと思う施設としても「家電量販店」等があげられており、大規模店舗の不足が指摘されている。
- ・「商店街にアーケードや広告スペース（掲示板）、子連れで行けるようなくつろぎスペースの設置」、「商店街に親しめるようなイベントの開催」等を望む声も多い。
- ・住民アンケートにおいて、現在の場所への転入の理由の1つとして「交通の便がよい（48.5%）」と「住環境のイメージがよい（43.6%）」とともに「日常の買い物が便利（39.2%）」に対する評価が高く、転居以前には日常の買い物が便利だというイメージを持っていたが、実際に暮らしてみても「商店街をもっと活性化して欲しい」、「魅力的なお店が少ない」、「歩きづらく買い物がしづらい」等の指摘が出てきたとみることができる。
- ・こうした結果から、住民としては、日常生活を支える店舗が充実し、生活の地として荻窪駅周辺の利便性が高まることを望んでいると推測できる。

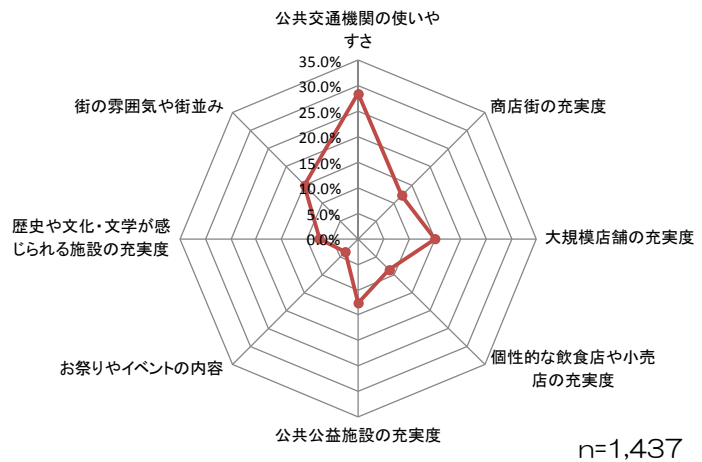
◇自由意見より抜粋

- ・食料品など生活用品の大型店を作ってほしい。SEIYUのような大型店を作って今より住みやすい生活しやすい街にして欲しい。
- ・大規模店舗はなしでいいです。今のままでOKです。
- ・大型店は不要です。小規模でも特徴のあるお店、飲食店の集合・集積と思います。吉祥寺や中野に對抗しようとしてもユニクロやヤマダ電機では、先が見えると思います。
- ・アーケードがあると雨の日の買い物は助かるし駅前が活性化するのは。
- ・阿佐ヶ谷のようなアーケード商店街があると雨の日も買い物が楽。
- ・中野のブロードウェイなど屋根つきの商店街は買い物にとっても便利です。天候が悪くてもいろんな店が集まっているのでとてもよい。その点荻窪は店が散在していて買い物しにくいと感じる。
- ・阿佐ヶ谷パールセンターのように商店街が活気づくとうれしい。行ってみようという気持ちになる。
- ・西荻窪・阿佐ヶ谷・高円寺・吉祥寺...と近い駅はそれぞれの匂いを残していますが、荻窪はどうでしょうか？個人商店がやっていける街、若い人が開業したい街として予算の配分を行えなければ、シャッター通り化しかねないと危惧しています。現在、シャッターを下ろしている店舗を若い人が安い賃料で借りられる仕組みをつくるだけで、活気が戻ってくると思います。
- ・消費者が歩いて楽しめる街並みをつくる。特に青梅街道沿いの1階部分に事務所が多い。以前のように商店が軒を連ねている街づくりが必要。人々が楽しんで歩ける街を考えていただきたい。
- ・良き文化はそのままに、荻窪ならではの新たな取り組みを期待します。シャッターが閉じている店舗をなくし、どんどん新しい受け入れ体制をつくれればいいと思います。
- ・空き店舗の活用。区や団体が借り上げをして活動希望者に貸し出す・シェアする等考えてほしい。子どもの見守りゾーン・お預かり場所・勉強室・小荷物配達受け届け場所等が利用できると思い。
- ・地域の生産者が出店するファーマーズマーケットを是非、開催して欲しい。その際、行政サイドが出展者をしかるべき条件のもと選定し、しっかりとブランド管理をして欲しい。いかがわしいフリーマーケットとは異なる上質なマーケットにして欲しいです。
- ・大型店ではなくおしゃれな建物の商店が多いと思う。基本的に今の感じがよい。
- ・教会通りは最近だいぶ変化しているようだけれど、気に入っているので、個人の商店が元気で魅力的な街であってくれたらよいと願っている。

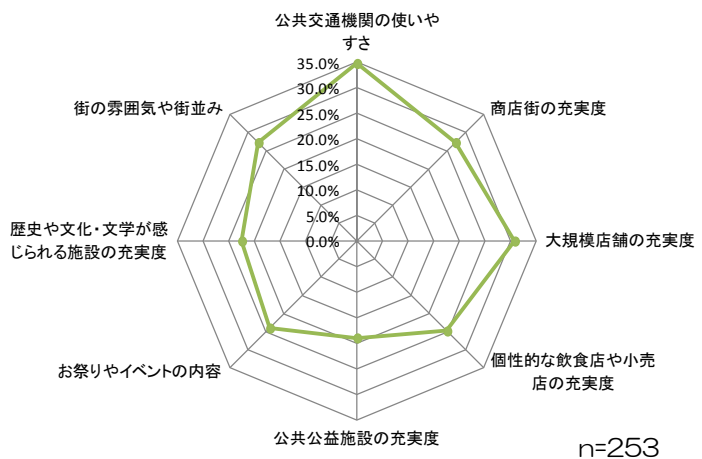
●交通利便性の高さの活用不足（乗換駅としてのイメージ）

- ・ 荻窪駅周辺の施設・サービスに対する評価のうち、「満足」していると回答したものに注目し、各アンケートごとにどの項目で満足度が高いかをみると、各アンケートともに「公共交通機関の使いやすさ」に満足している人が多い。
- ・ 住民から見ると満足度の低い「個性的な飲食店や小売店の充実度」は、Webや来街者アンケートにおいては、比較的高い評価を得ており、外から見ると、充実しているように感じている人が多いと推測できる。
- ・ なお、来街者アンケートは、全体的に満足度が高く、不満度が低い結果となっているが、これは聞き取りで調査を行ったため、比較的、ポジティブな方向の答えが返ってきたものと思われる。
- ・ また、来街者及びWebアンケートをみると、来街目的※として多いのが「飲食」や「買い物」と並び、「仕事（営業、打合せ等）」や「電車の乗り換え」となっている。「仕事（営業、打合せ等）」や「電車の乗り換え」で荻窪駅周辺に来る人の半数以上が駅周辺の施設をほとんど利用しないという結果（次頁のグラフ参照）出ており、そうした人達は単なる通過交通であり、駅周辺の賑わい創出に上手く取り込むことが出来ていないものと思われる。

◇住民アンケートにおける満足度

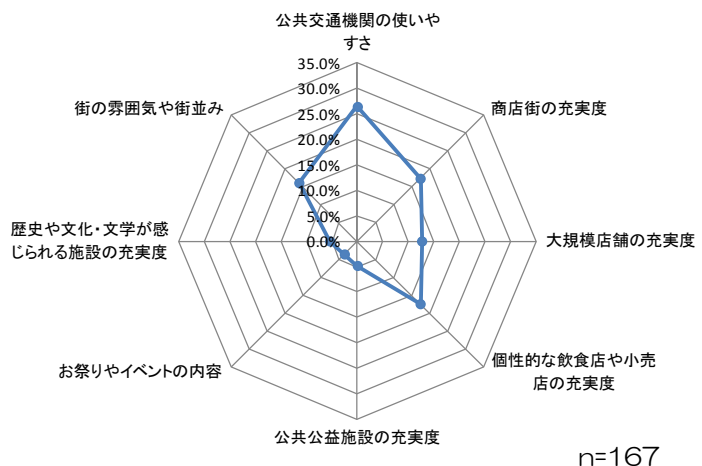


◇来街者アンケートにおける満足度

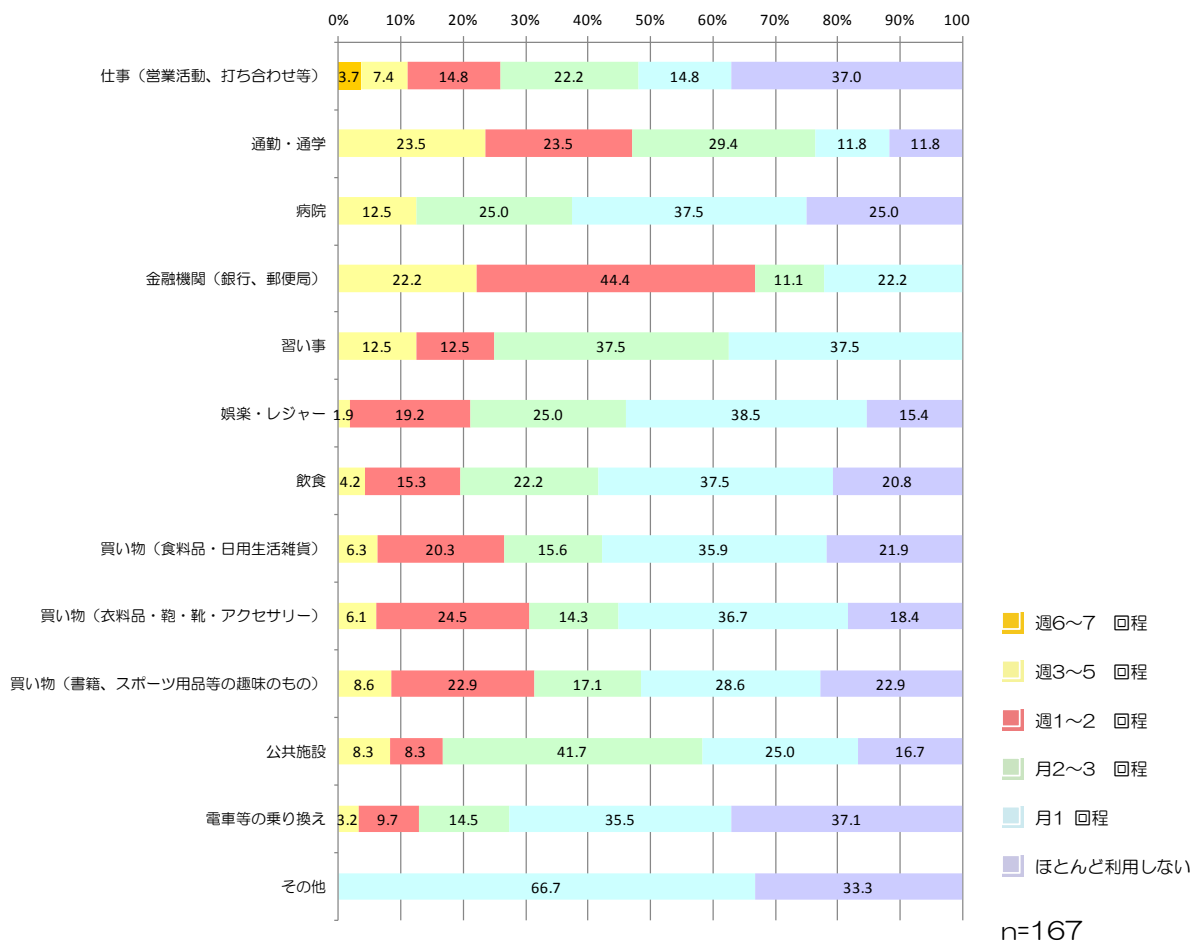


※来街者アンケートの来街目的で「イベント参加」が多くなっているがイベント時に一部調査を実施した影響が大きいと思われる。

◇Webアンケートにおける満足度

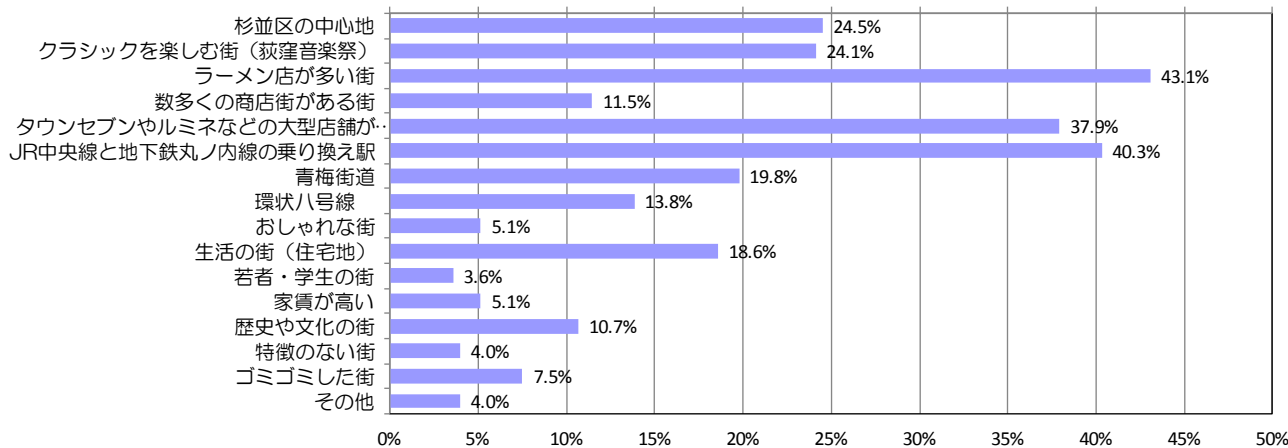


◇目的別よく荻窪駅周辺施設の利用頻度（Web アンケートより）



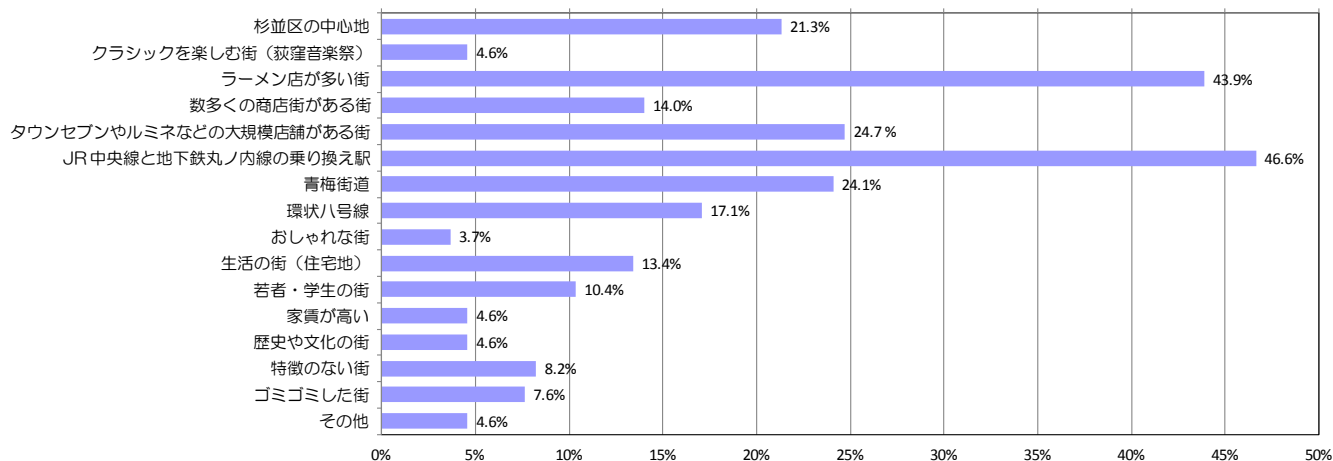
- ・さらに、来街者及び Web アンケートにおいて「荻窪駅」と聞いて連想できることという問いに対し、「ラーメンの街」とともに多いのが「JR 中央線と地下鉄丸ノ内線の乗り換え駅」であり、それぞれ4割以上の回答者がそうしたイメージを持っていることが分かった。
- ・これより、荻窪駅は、来街者や地区外の居住者から、主に通過駅として認識されていることがわかった。

◇「荻窪駅」と聞いて連想すること（来街者アンケートより）



※複数回答（回答者数 253 人）

◇「荻窪駅」と聞いて連想すること（Web アンケートより）

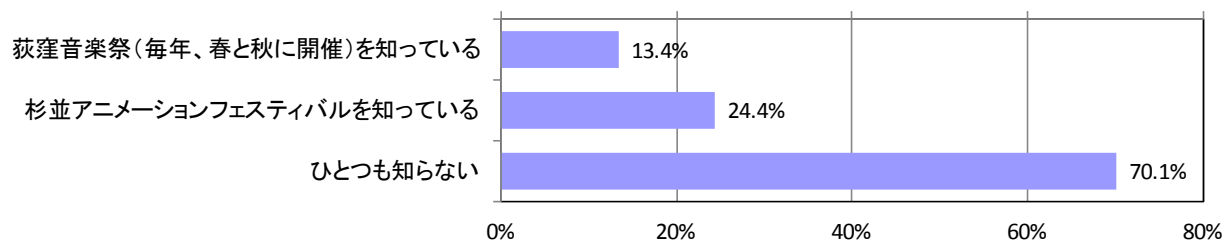


※複数回答（回答者数 328 人）

●特徴がなく中途半端なまちのイメージ

- ・ 荻窪駅周辺における大きなイベントである「荻窪音楽祭」と「アニメーションフェスティバル」は、Web アンケートをみると、両方とも知らないという回答者が約7割となっており、あまり認知されていない。
- ・ また、荻窪には戦前から作家や音楽家等の著名人が多く暮らしていたことや、神社仏閣も多く、歴史と文化の街でもあるが、前述した各アンケートにおける満足度においては、「歴史と文化・文学が感じられる施設の充実度」の評価は高くない。
- ・ 自由回答にも、「ラーメン店等が多く集積しているイメージはあるが、そうした要素をうまくPR 出来ていないのではないか」というような指摘も見られた。

◇イベントの認知度（Web アンケートより）



※複数回答（回答者数 328 人）

- ・自由回答をみると、「中央線沿線の別の駅周辺と比べてもイメージが不明確で中途半端」、「個性的なまちに囲まれていて存在感がない」等の意見が多くみられた。
- ・中央線沿線には古くからの個性的な街が多く、イベントに関しても認知度の高いものが多い。その中で、荻窪駅周辺は上手くその個性をアピールすることがなかったために「個性がない」という印象を持たれているものと思われる。
- ・今後のまちづくりにおいては、特徴のあるまちづくりを心がけ、内外にわたって荻窪の個性、魅力をアピールすることも検討する必要がある。

◇自由意見より抜粋

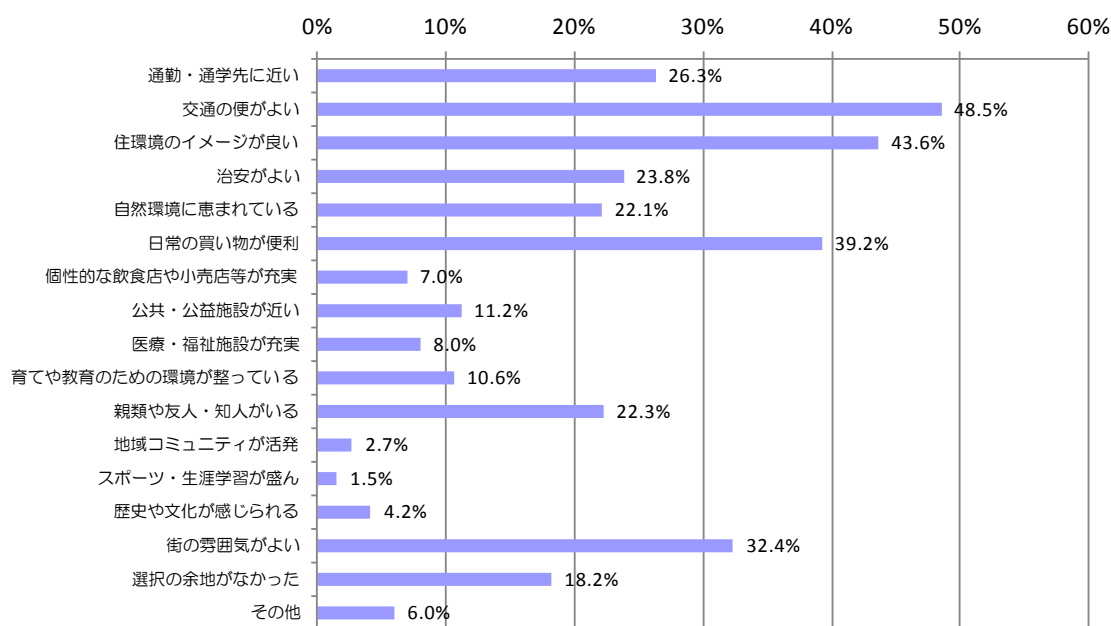
- ・荻窪は中途半端なイメージ。買い物には新宿・吉祥寺が近く、住宅地に特化したイメージでは阿佐ヶ谷、高円寺、西荻のほうが強くあると感じる。
- ・交通の要でありながら、阿佐ヶ谷、高円寺、西荻窪、吉祥寺と比べると中途半端な印象を受ける。荻窪は住宅地の中心として、また、今後進む高齢化社会に対応した街づくりを目指すべき。高円寺、西荻のほうが強くあると感じる。
- ・阿佐ヶ谷、西荻窪、高円寺などは、それぞれ独特の雰囲気があるのに、荻窪はなぜかまいち。沢山お店があるのに不思議。
- ・雑誌で中央線特集とあっても、何故か荻窪だけは飛ばされていたりして、悲しく思うことがある。
- ・駅の路線については、これほどアクセスの良い街はそうそうないと思うので、満足していますが、外部から遊びに来てもらう街ではないと感じる。
- ・今の荻窪は、ネームバリューがある割には街が古く、発展性が感じられず、魅力的ではありません。
- ・高円寺は阿波踊り、阿佐ヶ谷は七夕と有名で各地から注目されるお祭りがあるのに荻窪にはない。
- ・阿佐ヶ谷に住んでいるのでわざわざ荻窪に行こうと思わない。行きたくなるような魅力がほしい。

良好な要素として評価された点

●交通結節点としての利便性の高さ

- ・ 荻窪駅周辺の施設・サービスに対する評価のうち、「満足」していると回答したものに注目し、各アンケートごとにどの項目で満足度が高いかをみると、各アンケートともに「公共交通機関の使いやすさ」に満足している人が多い。
- ・ また、住民アンケートにおいて、現在の場所への転入の理由の1つとして「交通の便がよい（48.5%）」が最も多く、交通利便性を評価して転入している人が約半数と多いことが分かる。
- ・ Web アンケートでは、荻窪駅周辺に住んでいる以外の中央線沿線居住者を対象としているが、立川、国立、西国分寺、三鷹等の荻窪駅より西側の地域からは、荻窪駅周辺を「電車の乗り換え」で利用することが最も多くなっている。
- ・ 地下鉄丸ノ内線とJR中央線の乗り換え駅として周辺地域からだけでなく、都下からも乗降客を集めており、休日にも杉並区内で唯一、JR中央線の快速が止まり、区内でも利便性の高い駅となっている。
- ・ 今後は、こうした交通利便性を活かし、来街者を単なる通過交通としてではなく、まちの賑わい創出につながるように積極的にまちづくりに取り込んでいく仕組みや魅力的な空間づくりを進めていく必要がある。

◇荻窪駅周辺地区への転入の理由（住民アンケートより）



※複数回答（回答者数 1,437 人）

●落ち着いたある良好な住環境

- ・住民アンケートにおいて、現在の場所への転入の理由の1つとして「交通の便がよい」に次いで多いのが、「住環境のイメージがよい（43.6%）」となっている。
- ・自由回答でも、「住みやすく感じている」や「落ち着いた住宅街が気に入っている」等、住みやすいと評価している人は多い。
- ・また、「新宿や吉祥寺ほどではなく、ほどほどの規模、中程度の満足が得られるまちがいい」、「今のままで充分」、「今以上の開発は不要」というような意見も多く、大規模開発や大きな発展というよりも、現状を維持しながら、日常生活を支える施設や良好な空間の充実が図られることが望まれていると思われる。
- ・今後は、落ち着いたある良好な住環境を保ちつつ、日常生活の利便性が向上するような施設の充実や住宅地としての良好な環境整備等を検討していく必要がある。

◇自由意見より抜粋

- ・住み始めて1カ月だがとても住みやすく感じている。
- ・少し住宅地に入ると、緑が多く、車通りもほとんどないので落ち着いた雰囲気があり、家と緑がなじんでとてもよい。
- ・荻窪駅には1回しか行ったことがないのですが、住みやすそうでいい印象でした。
- ・荻窪に住んで25年になる。「子育て」をするにはとても住みやすい街だと思う。自然もかなり残っているし、駅周辺には安い店がたくさんあり、買い回りもしやすく活気にもあふれているので大好きな街です。。
- ・地方都市と異なり、近くに（新宿等）通常の生活で満足できる各種の施設があり、都のベッドタウンとしての機能を優先し、通常の日々を過ごせる施設があればよく、公共施設も必要最低限のものが充実しておればよいと考えます
- ・荻窪は、新宿や吉祥寺ほどではなく、阿佐ヶ谷や西荻窪よりも充実している。ほどほどのところがよい。荻窪には、ほどほどの品とほどほどの値段の商品がある。中程度の満足を得られる街。今の世の中無理をせずにほどほどが大事だと思う。
- ・今以上の開発不要
- ・道が狭いのは子連れにとってはちょっと大変だが、住みやすさ・落ち着き等好きな街です。このままずっと素敵な街であってくれば良いです。
- ・今まで来ることがなかった街でしたが、とても感じの良い所でしたので、これから利用したいと思います。

② 商業者・事業者アンケート結果 ～問題意識と評価された点の整理～

- ・アンケート結果からみえる荻窪駅周辺に対する問題意識・不満な点等のネガティブな要素を整理すると、次のような事項があげられる。
- ・問題点として最も多くあげられていたのが「鉄道による南北の分断」であり、商業・業務環境としても「南北分断」に対しては問題意識を持つ人が多いことが読み取れた。

問題意識・不満な点 (詳細は 33～35 頁)

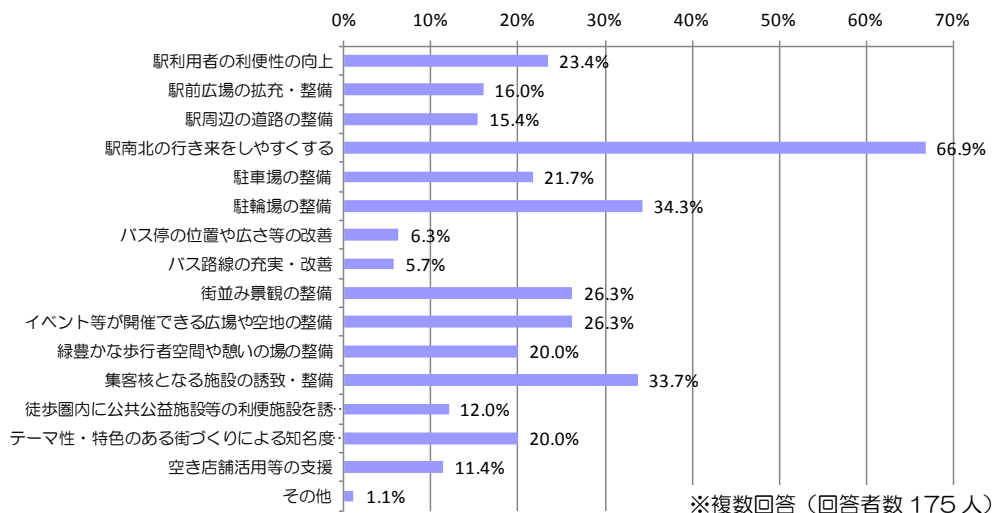
- 鉄道による市街地の分断
- 商業地としての成長に対する低い評価
- 駐輪場の不足や放置自転車等の自転車に関する問題
- 駅の利便性向上や荻窪の知名度・イメージの向上

問題意識・不満な点

●鉄道による市街地の分断

- ・「鉄道による南北の分断は、地区の発展を妨げている」という指摘は住民と同様に、商業者・事業者からも多くあげられた。
- ・特に、商業者からは「南北の往来がスムーズになれば、顧客が増えるのでは」という意見もみられた。一方、住民アンケート等でも「南北の行き来がしやすければ、北口・南口の両方に買い物に行く機会が増える」というような意見もみられたことから、南北の往来の不便さが、商業環境へ与える影響は小さくないと推測できる。

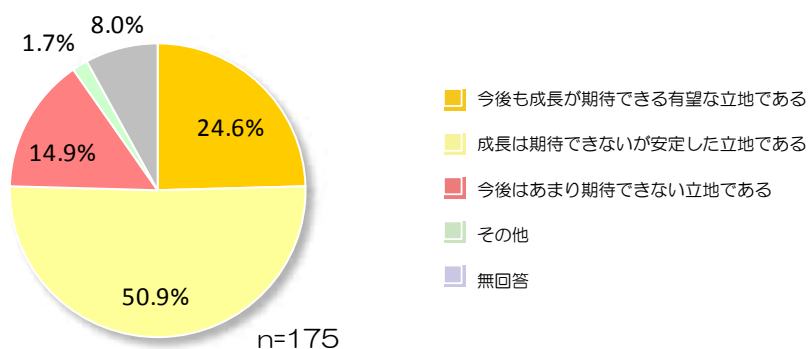
◇荻窪駅周辺のまちづくりで特に重要だと思うこと (商業者アンケートより)



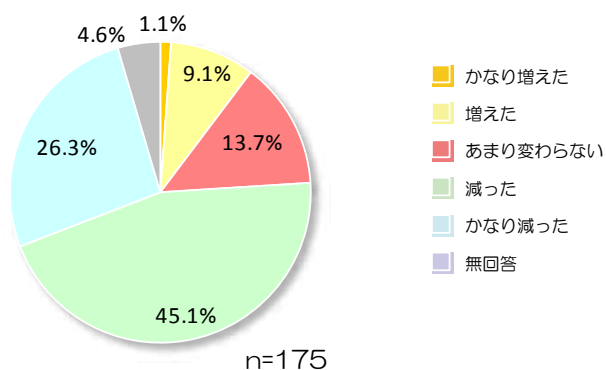
●商業地としての成長に対する低い評価

- ・ 商業者アンケートにおける商業環境についての評価は、「成長は期待できないが安定した立地である」が約半数を占めた。
- ・ 3年前と比較した売上・顧客数の変化をみると「減った」という回答が約半数を占めており、縮小傾向にあることがうかがえる。
- ・ また、主な顧客層をみると約7割が「近隣住民」で占められていることから、「近隣住民」というある一定の顧客は確保できているが、駅利用者などの外部から来る人を取り込んでいけるような状況にはないものと思われる。

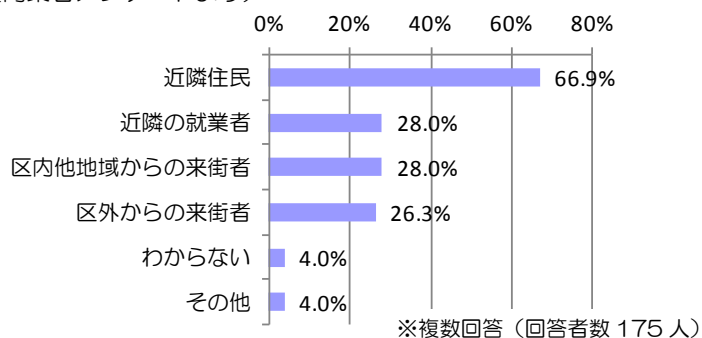
◇荻窪駅周辺の商業環境についての評価（商業者アンケートより）



◇3年前と比較した売上の変化（商業者アンケートより）



◇主な顧客層（商業者アンケートより）



●駐輪場の不足や放置自転車等の自転車に関する問題

- ・ 商業者アンケートによるとまちづくりで特に重要だと思うこととして「駅南北の行き来をしやすくする」とともに多くあげられていたのは「駐輪場の整備」である。
- ・ 商業者の自由回答をみると、駐輪場の新設とともに、放置自転車対策や自転車のマナーについての指摘が目立った。

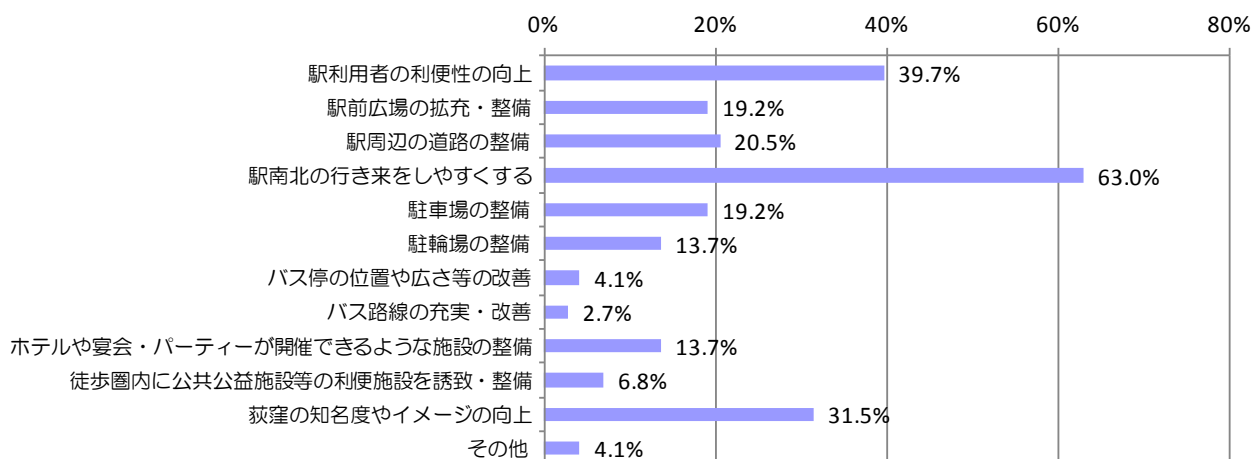
◇自由意見より抜粋

- ・ 駐輪場の整備。
- ・ 駅前に駐輪場を新設してほしい。
- ・ 点字ブロックの上の自転車が危ない。車いすの方が通れない等、駅前の歩道がひどい。自転車撤去の強化が必要。
- ・ 自転車利用者による歩行者の危険（歩道の放置自転車・歩道通行の自転車）。荻窪駅周辺の幹線道路の自転車専用レーン
- ・ 駅直結の自転車置き場が必要。
- ・ 自転車のマナーが悪く、お年寄りや子供の事故が多くて困っている。

●駅の利便性向上や荻窪の知名度・イメージの向上

- ・ 事業者アンケートによると、より多くの事業所が立地するために特に必要だと思うこととして「駅南北の行き来をしやすくする」、「駅利用者の利便性の向上」等、駅周辺の利便性の向上に関する回答が多かった。
- ・ また、「荻窪の知名度やイメージの向上」についても比較的必要性が高く認識されており、荻窪の知名度やイメージが向上することで、立地する事業所が増えるのではないかと考えている事業者が少なくないということが推測できる。

◇より多くの事業所が立地するために特に必要だと思うこと（事業者アンケートより）



※複数回答（回答者数 73 人）

③ 今後のまちづくりに期待されている事項

- ・ アンケート結果からまちの将来イメージ及び望まれている施設等を整理すると、今後のまちづくりにおいて改善が期待されていることとして次にあげる6つの事項があげられる。

今後のまちづくりに期待されている事項（詳細は37～42頁）

- 鉄道や幹線道路による市街地の分断の解消
- 駅や駅周辺の利便性の向上による商業・業務環境の改善
- 歩いて楽しめる回遊性のあるまちづくり
- 安心して暮らせる緑豊かな住環境の維持・保全
- 日常生活を豊かにする施設の充実
- 荻窪らしさを活かした個性的なまちづくり

●鉄道や幹線道路による市街地の分断の解消

- ・ 鉄道による南北の分断は、地区の発展を妨げているという指摘は住民だけでなく、商業者・事業者へのアンケートにおいても最も多く受けた指摘である。
- ・ 日常の買い物にも不便を感じている人が多く、まちとしての回遊性にも欠けており、まちの拡がりも限定的になりがちである。

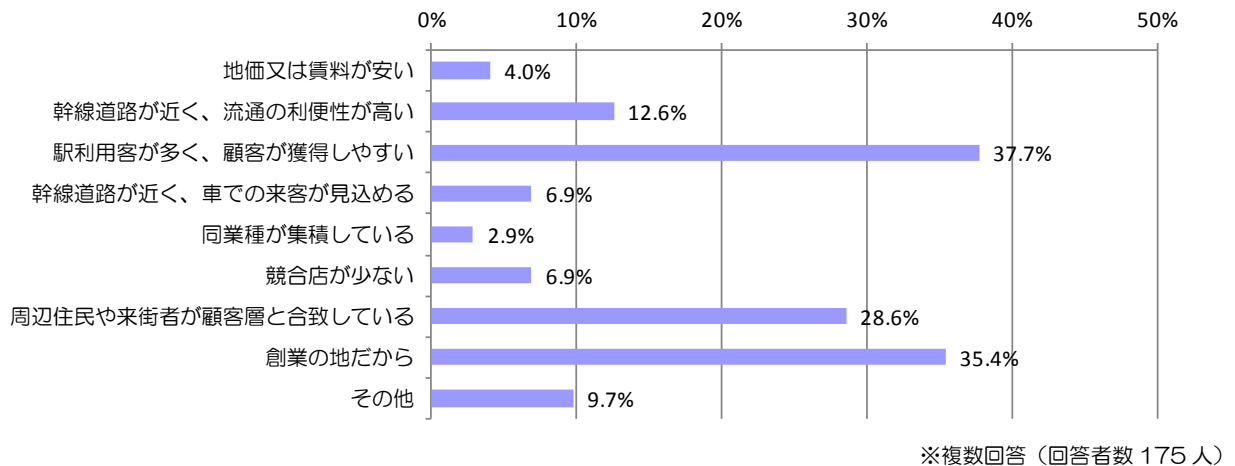
◇自由意見より抜粋

- ・ 駅南北の行き来がしやすくない限り、これ以上の街の発展はないと思う。
- ・ 南北行き来がしやすくなると、西南口の商店街にも足を運べる。現状では、駅へ来る人もすずらん通りへは寄ってくれない。
- ・ 荻窪駅最大の弱点は南北の行き来ができないこと。早急に JR の高架化に取り組んでほしい
- ・ 鉄道を高架化するというような根本的な計画でないかぎり、現状維持しかないのではないかと。
- ・ 駅を高架にして南北の往来を楽にしつつ、従来の町並みは残すような街づくりを希望する。
- ・ 荻窪駅を発展させたいなら、JR を高架にして南北分断を解消すること。北口にある環状8号線と青梅街道を地下化するなどして、北口を発展させられるスペースを確保すること。
- ・ 南北を自転車で行き来する道が怖くて一人では通れません。
- ・ 南口、北口への商店街が分断されている。駅高架にしなかったためか人の流れが悪い。
- ・ 電車を南北高架にすると栄えると思う。若者が吉祥寺に行ってしまうことのないような街にする。
- ・ 荻窪駅を発展させたいなら、JR を高架にして南北分断を解消すること。北口にある環状8号線と青梅街道を地下化するなどして、北口を発展させられるスペースを確保すること。
- ・ JR 荻窪駅の高架が難しいのであれば、JR も一役買って北口と南口がスムーズに行けるように鉄道の上を地上7、8階にする立体商業地域をつくり、荻窪にふさわしい高級感あふれる自然も取り入れたお洒落なまちづくりに努めてほしい。
- ・ 荻窪駅は中央線の他の駅に比べてこれといった魅力が見当たらない。これは一つには以前より懸案となっている荻窪駅南北間の往来の悪さである。この問題を解決し、天沼陸橋付近から、四面道まで大きな商業圏を作るといった抜本的な変革がない限り、荻窪は周辺地域から大きく取り残されるのでは？という懸念がある。

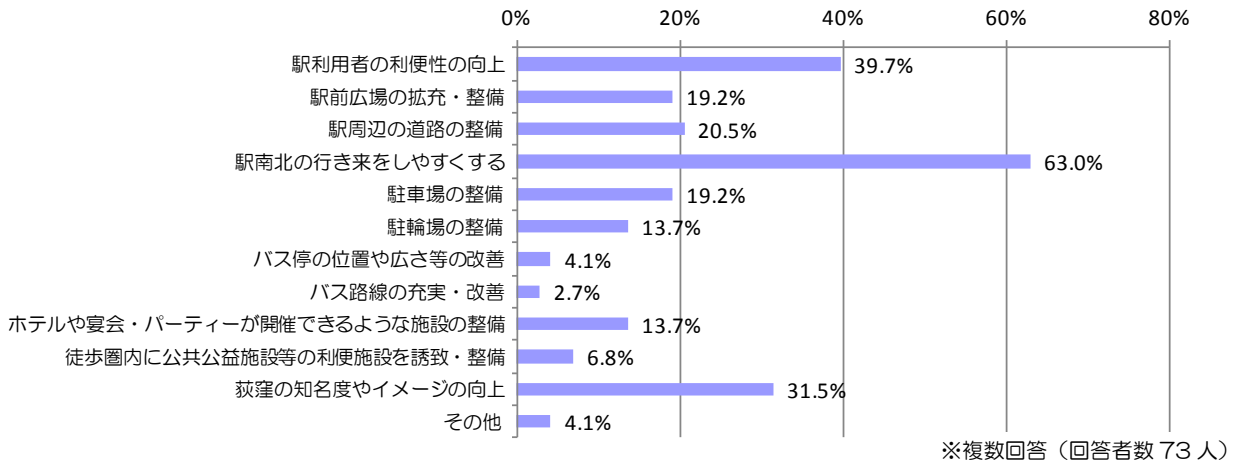
● 駅や駅周辺の利便性の向上による商業・業務環境の改善

- ・ 商業者アンケートにおいて、荻窪駅周辺地区を立地場所として選定した理由として「創業の地だから」とともに多かったのは「駅利用客が多く、顧客を獲得しやすい」となっている。
- ・ また、「駅南北の行き来が不便であることが、更なる顧客獲得への妨げになっている」との見方をする商業者もいた。
- ・ 事業者アンケートにおいては、より多くの事業所が立地するために特に必要だと思うこととして「駅南北の行き来をしやすくする」と「駅利用者の利便性の向上」が多くあげられており、駅や駅周辺の改善により、事業所の集積の可能性も高まると考えている事業者が多いと推測できる。

◇ 店舗の立地場所として荻窪駅周辺を選定した理由（商業者アンケートより）



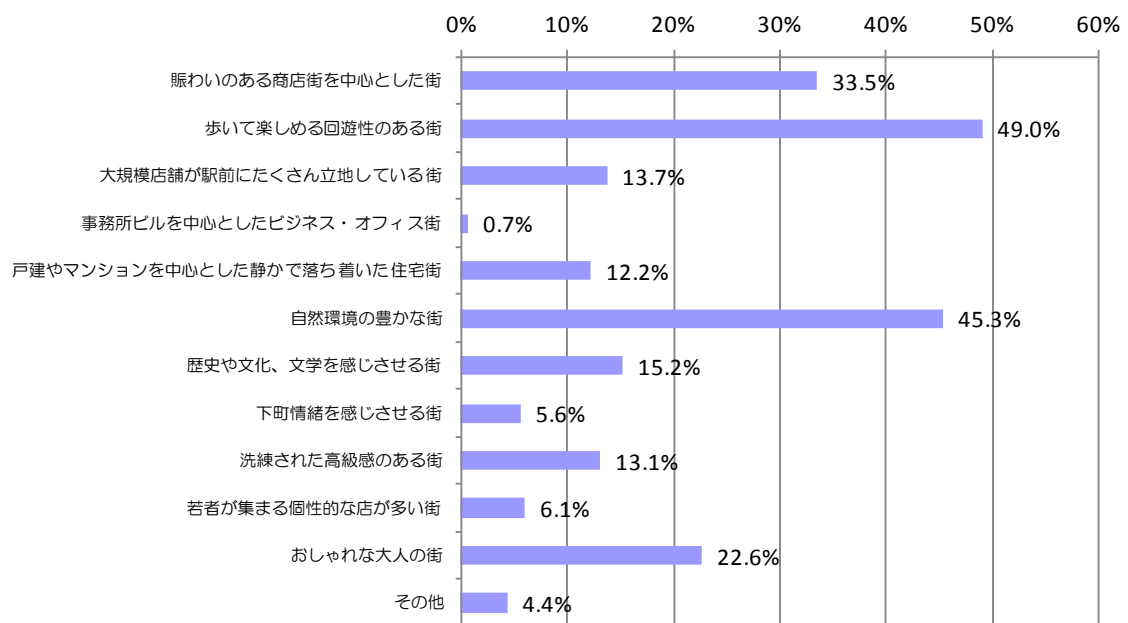
◇ より多くの事業所が立地するために特に必要だと思うこと（事業者アンケートより）



●歩いて楽しめる回遊性のあるまちづくり

- ・各アンケートにおいて、荻窪駅周辺地区の将来イメージとして「歩いて楽しめるまち」とした回答者が住民アンケートにおいては約5割、その他のアンケートにおいては4割前後で最も多くなっている。
- ・南北分断の問題につながるが、「南北が一体化されれば、もっと楽しめるまちになるのではないか」という意見は多くあり、「歩いて楽しめるもしくは、自転車で気軽に行けるまちにする」ことが、全体の活性化につながるという意見もみられた。
- ・歩いて楽しめるという点では、「歩いて楽しめる商店街」を望む声も多く、そのための歩道整備や車両規制、自転車のマナー向上、舗装や街路灯、一息つける広場の整備等を上げる声もみられた。
- ・「歩いて楽しめるまち」をつくるためには、前述した問題意識を踏まえ、誰もが歩いて出かけたくなる歩行者空間を整え、賑わい、潤いのあるまちづくりを検討していくことが必要とされている。

◇どんな街になるといいと思うか（住民アンケートより）



※複数回答（回答者数 1,437 人）

◇自由意見より抜粋

- ・ぶらぶらと散歩を楽しめるような駅周辺を中心として拡がりのある店が多く出来たらよいと思います。
- ・自転車がすくいっぱいになってしまう。大分増えているので仕方ないが。大通りに魅力的なお店がないため、自転車で通り過ぎる人が多いと思う。駅近くから歩いて楽しめる街なみであれば自転車や車の問題も解消されると思う。これまで以上に活気ある楽しく住みやすい街になってほしい。
- ・荻窪は歩いているととても落ち着くので大好きな街。駅前がもっとすっきりすればいい。
- ・歩行者用道路を舗装し歩きやすい道路にしたい。
- ・消費者が歩いて楽しめる街並みをつくる。特に青梅街道沿いの1階部分に事務所が多い。以前のように商店が軒を連ねている街づくりが必要。人々が楽しんで歩ける街を考えていただきたい。

●安心して暮らせる緑豊かな住環境の維持・保全

- ・各アンケートにおいて、荻窪駅周辺地区の将来イメージとして「歩いて楽しめるまち」とともに多かったのが、「自然環境の豊かな街」となっている。
- ・また、「子育てがしやすいまち」や「高齢者にも暮らしやすいまち」というように子どもや高齢者にやさしいまちづくりを望む声が目立つ。
- ・商店街等の商業環境に関するアンケート結果においても、非日常的な買い物ではなく、日常的な買い物について更なる便利さや品ぞろえ、店舗の充実を求める傾向にあり、荻窪駅周辺地区については、日常生活を営む空間、住宅地としての認識が強いものと推測できる。
- ・今後も、住環境としての機能や空間の充実と、利便性や安全性の向上に向けた検討が必要とされている。

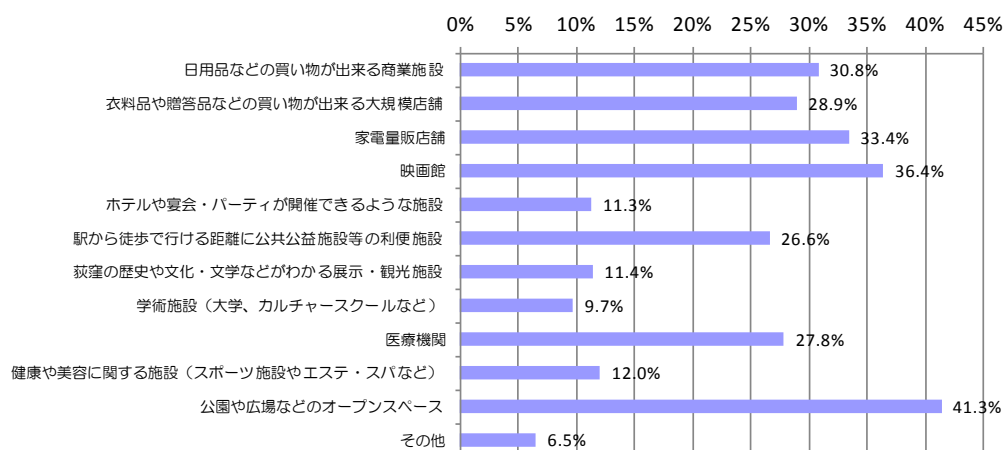
◇自由意見より抜粋

- ・昔は、東京の軽井沢と呼ばれ、駅近くまで緑が豊かで閑静な穏やかな街だった。最近は相続税の問題のためか、大きな敷地の住宅が少なくなり、庭も木もない小さな住宅が増加し、緑が少なくなっている。
- ・北口青梅街道の並木を保つと同時に南口駅前周辺の緑が減らぬ様にしてほしい。マンション等のビルが盛んに開発・建設がされているが、樹木の減ってゆくのが悔まれる。これ以上減らさぬよう、むしろなんとか増やす工夫をしてほしい。(都心から帰ってくると荻窪の空気が良いと感じてきた。これからもそうであってほしい)
- ・善福寺川を中心とした緑豊かなエリアを充実させてほしい。荻窪駅周辺は雑然としていて少し汚いイメージ。景観を良くしてほしい。阿佐ヶ谷パールセンターのような大きな商店街があると街が活性化するとと思う。
- ・子供を安心して育てることのできる街
- ・安心して子供たちが歩ける歩道の確保ができている街
- ・家族が住みやすい街
- ・子どもからお年寄りまで幅広い年齢の方が住んでらっしゃるので若い人だけでなく子ども、お年寄りが住みやすい街にしてほしいです。
- ・高齢者もゆっくり遊んだり休んだりできる街
- ・子連れも中高年もシニアも落ち着いた雰囲気を楽しめる街であってほしい。
- ・吉祥寺のような無秩序な開発は絶対に進めるべきではない。杉並区が本来持っている、人にやさしい環境をベースに住みやすい、安心して子育てできる、文化度の高い開発を進めていくべき。
- ・自然豊かな高級感のある落ち着いた街を希望する。
- ・あまり騒がしくなく、落ち着いた雰囲気の街
- ・近くに吉祥寺や新宿など若者が集まる個性的な店がある街が多いので、荻窪駅周辺は自然環境豊かな歴史や文化を感じさせる落ち着いた中高年の集まる街にしてほしいと思います。
- ・「下町」イメージさせる高円寺、阿佐ヶ谷、「若者文化」をイメージさせる吉祥寺に囲まれたエリアなので、落ち着いた、安全で住みやすい”イメージ作りを狙ってもよいと思う。荻窪、西荻窪を生活スペースとして、買い物やレジャー、飲食などは近くの駅ですませるといふ暮らし方もありだと思う。
- ・下町の雰囲気は高円寺や阿佐ヶ谷に軍配が上がると思う。下町の良さは「気取らないでいられる」ことにあるが、ゆえに貧困層や非常識な輩や若者が多く集まっているという弊害もある。荻窪は杉並区の中でも「高級感」「大人の街」を売り立していくと良いと思う。雑居ビルやいわゆる飲み屋街のような場所に警戒心をもつ人も多くおられる。隠れ家的な店もあっていいと思うが、安心感を持って歩けるような雰囲気、セキュリティはほしい。これにより差別化が図られ上京者にとっても「住むことがステータス」になる街になり、上品さが感じられるようになるだろう。

●日常生活を豊かにする施設の充実

- ・ 駅周辺にあるとよい、またはより充実した方がよいと思う施設として、各アンケートともに、「公園や広場」、「映画館」が多くあげられている。
- ・ 自由回答をみると、「大型のスーパー」や「子連れで楽しめる店舗・施設」、「日常のものを購入できる個性的な店舗」、「医療機関」、「子どもがボールで遊べる公園」等が多くあげられている。
- ・ 一方、不要と思われる施設としては、「大規模店舗」、「パチンコ店、風俗店等」があげられている。特に、「大規模店舗に関しては、新宿や吉祥寺にまかせて、荻窪駅周辺地区には不要ではないか」という意見が目立った。
- ・ こうしたことから、荻窪駅周辺地区には、ホテルや衣料品等の買い物が出来る大規模店舗等の非日常的な施設ではなく、生活地としてより豊かな環境づくりに向け、日常生活を支える施設・機能や暮らしをより豊かにするような施設・機能を充実させる検討が必要とされている。

◇駅周辺にあるとよい、またはより充実した方がよいと思う施設（住民アンケートより）



※複数回答（回答者数 1,437人）

◇自由意見より抜粋

- ・ 子どもが自由に遊べるグラウンド、広場がほしい。特にボール球技（野球）が自由に出来る広場、グラウンドを望みます。
- ・ 大田黒公園のようなところも積極的に残してほしい。
- ・ 南口に、スーパー（大型）がほしい。
- ・ 子ども連れが楽しめる設備を充実させてほしいです。保育園、公園（遊具付き）、キッズスペース（ルミネ内等）、子連れでもOKなレストラン、ピュッフェ、キッズメニューが充実しているレストラン等々
- ・ 子育て世代の多い街なので親子特にベビー連れと一緒に楽しめる公共施設、飲食店の充実を期待。児童館以外のプレイルームがあるとうれしい。
- ・ 徒歩圏内で公共施設や病院があるといい。
- ・ 近くに新宿や吉祥寺があるので、今以上の大規模店は必要ない。
- ・ 大型店は不要です。小規模でも特徴のあるお店、飲食店の集合・集積がよい。吉祥寺や中野に対抗しようとしてもユニクロやヤマダ電機では、先が見えると思います。
- ・ 駅周辺のパチンコ店、風俗店まがいのキャバクラ、ゲームセンターが街のイメージや雰囲気破壊している。

●荻窪らしさを活かした個性的なまちづくり

- ・自由回答をみると、「今の荻窪らしさを活かしたまち」や「同じ沿線にあるまちとは異なる個性的なまち」を望む人が多くみられた。
- ・今後活かしていきたい「荻窪らしさ」としては、次のようなキーワードが多くあげられていた。

素朴 下町 自然が多い 落ち着いた街並み

独自の歴史・文化を持つまち

文化人が多く住んでいた落ちついた住宅地 程良いごちゃごちゃ感

- ・問題意識として荻窪駅周辺は「個性がない」ということが多くあげられていることもあり、今後は、周辺地域との差別化を図りつつ、荻窪の独自性を活かした個性的なまちづくりの実現に向けた取組を図ることが必要とされている。

◇自由意見より抜粋

- ・都心に近いというメリットを持ちつつ、自然が多い落ち着いた街並みを残したまちづくりを行ってほしい。
- ・荻窪の歴史・文化などから独自性を見つけ荻窪にしかできない街になればよいのでは
- ・文化人が多く住んでいた街にふさわしい落ち着いた気品あるまちに。
- ・荻窪は戦前から多くの作家・音楽家・画家他の著名人が居を構え、由緒ある神社仏閣等もあり、歴史を守りながら形成してきた歴史と文化の街です。杉並の街の将来像をより「質の高い魅力ある住宅都市」と定めるなら、先人達が残した荻窪の財産というべき街の色合いや独特な雰囲気は開発により一度失うと元に戻りませんのでぜひ大切にしてくださいと願います。
- ・荻窪駅周辺は歴史や文化を感じさせる自然環境豊かな洗練された美しい街並みを切に希望する。
- ・ルミネが出来て便利になったが、街の表情がブチ新宿にみたいになっていくのは残念です。（どこも同じような駅周辺）中央線、杉並を代表する駅が荻窪だったはず。大規模店舗は新宿や吉祥寺に任せて、文化人が住んでいたように落ち着いた住宅街と商店街がマッチした高齢者にも優しいまちづくりを希望します・大規模開発の誘致や整備に重点を置くより、今ある荻窪の町並みをいかした街づくりを進めてほしい。道路が入り組んでごみごみしたところは荻窪の良さでもあると思う。
- ・さらにもう一歩整備してもらいたいと思う反面、このこじんまりとしたごちゃごちゃした雰囲気も魅力のひとつである。あまり立派にきれいにしすぎて、逆にどこにでもあるような街になってほしくない。
- ・下町情緒や親しみやすさなどは残しつつ、中途半端な感じや停滞感などがある部分は洗練されるとうれしいと思います。地域柄、子どもからお年寄りまで、幅広い年齢のまちだと思うので、みんなが居心地良く、かつ、若者も満足するセンスの良さと自然豊かでナチュラルな感じをさらに兼ね備えてほしいです。
- ・同じ沿線にある高円寺、阿佐ヶ谷、吉祥寺とは異なる町になるといいと思います。
- ・チェーン展開している店は、他の地区で用が足りるので、もっと個性的な店が多ければ、行ってみたいと思う。近隣の駅にはない施設等で差別化を図ってほしい。
- ・大規模店やチェーン店ばかりではなく、個性ある昔ながらの店が連なる商店街があるとよいと思う。
- ・おしゃれでありながらも、下町情緒があり個性的なお店もあってほしい。
- ・吉祥寺や西荻、高円寺などのように、イメージが多くの人に浸透するまちづくりを希望します。

2. ヒアリング調査

- ・アンケート調査と併せて、有識者及び事業者に直接意見を聞くことで、今後のまちづくりへのヒントやアイデアを得ていくことを目的として実施した。

(1) 有識者ヒアリング

①目的

- ・荻窪の課題や特性の抽出とともに、今後のまちづくりのあり方のヒントを得ることを目的にし、日頃から杉並区のまちづくり行政に係わるとともに、様々な地域のまちづくりにも積極的に取り組んでいる有識者を対象とし、インタビュー形式のヒアリング調査を実施した。

②ヒアリング対象

伊藤滋氏	早稲田大学特命教授 伊藤滋都市計画事務所主宰 杉並区基本構想審議会会長 杉並区在住
倉田直道氏	工学院大学建築学部まちづくり学科主任教授 杉並区まちづくり景観審議会副会長
河野進氏	JIA 杉並地域会幹事 河野進設計事務所主宰 芝浦工業大学非常勤講師
須磨佳津江氏	ジャーナリスト 財団法人都市緑化機構理事 杉並区在住

③ヒアリング概要

●特徴・イメージについて

- ・駅周辺には、地域の“宝（資源）”となる良い店やスポットが点在しているが、地

域全体に分散して場所がわかりにくいため、あまり人に知られておらず、魅力を活かしきれていない。

- ・今はまだ、荻窪の文化や個性的な街だった頃の記憶が人々の中に残っているため、住民も愛着を感じているかもしれないが、そのうちに薄れていく可能性がある。
- ・高円寺や阿佐ヶ谷が賑わいのある“ハレの街”であるのに対し、荻窪は落ち着いた“日常の街”（文化の街）だと思う。
- ・背後に控えた歴史のある住宅地が荻窪のイメージを作っていると思う。
- ・闇市の名残のある商店街が、駅前商業のプラスとマイナス両方のイメージを形成していると思う。
- ・阿佐ヶ谷や高円寺には各々まちのイメージがあるが、荻窪にはあまりない。荻窪は吉祥寺のイメージと競合する部分もあるが、今後のまちづくりの中で荻窪らしいまちのイメージを形成していくという戦略もあるように思う。

●文化・歴史について

- ・区民が荻窪の歴史や文化を学ぶ機会が減り、文化が途切れてきていると感じる。地域の歴史や文化を大切にしてほしい。
- ・荻窪は多くの文士が住んでいた街であり、歴史的な資源も多いが、それらに関する説明やPRが不足していると感じる。
- ・荻窪は杉並公会堂による文化的なイメージがあるが、駅から少し離れており、文化的なイメージが必ずしも駅に顔をだしていない。
- ・荻窪でしか見ることのできない芝居小屋や画廊など、特徴的な施設を導入すると文化的・芸術的な活動が荻窪で展開されるのではないか。

●鉄道による分断について

- ・駅の向こう側が見渡せるように駅舎や橋（通路）をガラス張りにする、植物のプランター等を設置する等、駅の向こう側へ行ってみたいくなるような仕掛けが必要ではないか。
- ・解決手法については様々な選択肢があると思うが、あまりうまくいっていない例は中途半端な整備に終始しているものだ。従来型の歩行者デッキを整備しても必ずしも成功はしないと思う。鉄道事業者と連携し、駅だけではなく駅前広場に隣接する街区を含めて一体的に計画しないと抜本的な解決は難しい。
- ・歩行者デッキを鉄道のホームの上にかけて、上を公園のようにしてしまうくらいの発想がほしい。デッキの整備については、動線の処理や周辺のまちとのつながりに配慮する必要がある。まちをどうつないでいくかが大事。

● 駅及び駅前広場について

- ・ 駅周辺の人口や乗降客数に対し、駅前広場が不足しており、乗換え動線が混乱している。
- ・ 駅舎についても、地下通路への出入口が狭く、階段の傾斜が急なため、ユニバーサルデザインの観点からも十分とは言えず、駅の利便性を向上させる必要があると思われる。。
- ・ 荻窪駅は、荻窪らしさが感じられる空間にはなっていないと思う。
- ・ 駅前広場が狭い。駅前広場を拡張し、青梅街道に分散しているバス停を集約させるべき。
- ・ 広場がない。“人の広場”をきちんと作った方が良い。

● 駅前の開発の可能性について

- ・ 駅前広場だけで考えるのではなく、周辺の街区と一体的にまちづくりを検討していくべき。
- ・ 駅周辺の開発については、低層が買回り品を扱うショッピングセンター、上層が駅から0分の高層マンションであれば可能性があると思う。
- ・ 駅周辺を高度利用しながら、パブリックスペースや歩行者デッキ、広場や公園等を整備することにより、駅が単なる交通機能だけではなく、人々の交流の場として機能するようになるという。
- ・ 公共性に重点を置いた事業はコストが高く課題が多い。
- ・ 市街地再開発事業の実施は難しいが、駅前の商業施設は必ずしも効率的ではないと思う。施設の規模を大きくするのではなく、利用者のニーズに合わせた建替え等が望ましいのではないかな。
- ・ ある程度は高度利用せざるを得ないが、場所の特質やスケール感をどう再現できるかが大事だと思う。普通の建替え等で大規模な商業施設を整備すると、荻窪らしくないという気がする。
- ・ 荻窪は吉祥寺や新宿に近く、位置づけが難しいが、住宅地としてのブランドイメージが高いため、大規模な商業施設ではなく、住宅地にふさわしい商業施設を充実させていくべきではないかな。
- ・ ノスタルジックでごちゃごちゃとした雰囲気共感する部分もあるが、今の状態で将来的にも商業的なポテンシャルを維持できる保証はない。
- ・ 駅周辺の開発を“暮らしやすさ”を形成する象徴として考えると、導入する生活支援機能についても、従来行政が提供しているものとは別に、荻窪の“生活の質”を支え、ブランドイメージを高める生活支援機能を導入すべきだと思う。
- ・ “荻窪らしさ”を作るためには、荻窪に暮らしている人々の生活に対する価値観や

ライフスタイルが、駅周辺の施設や空間イメージに顔を出しているということが大事だと思う。

- ・荻窪の暮らしが感じられる駅周辺をどう作り出すかということだと思う。今は、荻窪の駅に降りた時に、荻窪のイメージが感じられない。

●今後のまちづくりについて

- ・住民に疑問を持たれないよう、的確なコミュニケーションを行うことが大切。
- ・アンケート調査は、一般的には身近な問題や細かい要望が多く、これら全て受け止めてしまうと、まちづくりの方向性がぼやけてくる可能性がある。区民によるワークショップ等を開催し、地域について学び、荻窪の歴史や文化等を共有した上で、区民の意見を聞くべきだと思う。
- ・まちなかにある“宝（資源）”を緑道でつなぐ等、人を“宝（資源）”に誘導する仕掛けが必要だと思う。駅周辺の道路は複雑だが、工夫次第で迷路の中で宝探しをするような面白みを生み出す可能性もある。
- ・“楽しく歩ける道”が増えれば高齢者の健康が促進され、医療費の削減に繋がる等、トータルにまちづくりを考えることが大切だと思う。街角に小さな花壇やフラワーボール、街にちなんだクイズ等を設置し、それらを辿ると“宝（資源）”を見つけることができる等の工夫を行うと、長く歩いた気持ちにならないのではないか。
- ・利便性や防災性に偏らず、地域の人が誇りを持てる街にしてほしい。
- ・緑道や公園等の整備内容や維持管理方法のアイデアを区民に提案してもらい、維持管理も区民に委託するような仕組みを考えても良いのではないか。
- ・駅前の緑が少ないため、“緑視率”を増やす工夫が必要だと思う。緑地として活用できる土地が少ないため、オーストラリアのパースやニュージーランドのクライストチャーチのように駅前の建物やバス停等の緑化を図ってはどうか。
- ・「代々木ビレッジ」の壁面緑化のように、常識に囚われない緑化を検討してほしい。
- ・荻窪には公園や緑が不足しているが、大規模な公園等を整備するのは現実的ではない。
- ・街に人を呼び込むためには、行きたくなる要素が3つ必要だと思う。例えば“美味しいもの”“面白い植物”“そこにしかない商品”。訪れた人にお土産話を3つ持ち帰ってもらえるような街になってほしい。
- ・まちに魅力があれば、途中下車してでも利用されるが、今はその可能性を放棄している。駅及び駅周辺が、地域の人達にとっても暮らしやすいまちになれば、自然と乗換客もまちを利用するようになると思う。
- ・新宿や立川、吉祥寺等の“量”のまちと同様のスケールで競っても勝負にならない。荻窪は“質”で勝負する必要がある。

- ・ 歴史ある住宅地を背後に控えたまちが持っている“生活の質”が何となく感じられるまちになっていかなければいけない。新宿や吉祥寺とは違う、荻窪の顔を持つ必要があると思う。
- ・ 限られた空間の中で、「交流の場」や「心地のいい都市空間」等の生活の質を良くする要素をできるだけ選択できる形で提供できると地域が豊かになる。
- ・ 荻窪に住む価値とはどういうことか等“荻窪スタイル”を考える延長で、“荻窪スタイル”の舞台としてまちを考えていくことが大事だと思う。
- ・ 青梅街道より北側に人の流れを誘導するためには、教会通り商店街を中心として、にぎわいを充実させてはどうか。

(2) 事業者ヒアリング

①目的

- ・事業者ヒアリングは、荻窪駅周辺で営業する民間企業2社を選定し、事業を展開していく上でのメリット・デメリット、通勤時に不便に感じている点や今後の荻窪における産業等について、直接意見を聞くことで、アンケートとは違った生の声を収集し、今後のまちづくりの検討に反映させていくために実施した。

②ヒアリング対象

- ・西武信用金庫荻窪西口支店
- ・株式会社小泉

③ヒアリング概要

●地域の分断について

- ・青梅街道と環状8号線、天沼陸橋で囲まれた三角のエリアが、周辺の地域と分断されていることが問題だと感じている。
- ・駅の南北を行き来する人の流れが悪く、南と北では人の交流も少なく地域差があると思う。
- ・駅が高架ではないため、南北の行き来が容易にできないことは大きなデメリットだと思う。

●荻窪で営業するメリット

- ・環8や青梅街道があり、交通の利便性も高いところが最大のメリットである。
- ・駅周辺は歩行者や自動車の交通量が多く、商業地としてのメリットが多い場所。
- ・交通利便性が高く、多くの人が集まる場所であり、周辺住民の買物場所にもなっている。さらに人口が多いこと等を鑑みると、1人あたりの買物単価が下がったとしても、それなりにやっていける場所だと思う。

●荻窪で営業するデメリット

- ・最近は大手の仕入れ先・メーカーが都内東部に移転する現象が出ており、荻窪とは距離が遠くなり、フットワークの悪化が出ている。
- ・吉祥寺や高円寺などと比べると活気がなく、地味な感じがするため、大型店舗やブランド店が出店しにくいのではないだろうか。

●荻窪の将来産業・商業環境等

- ・杉並区にはNPOが多いと思う。ビルや場所に関係なく活動できるNPOやソーシャルビジネス等が育ってきているのではないか。
- ・高齢者を対象としたデイサービスや介護ビジネス等は今後ビジネスチャンスがあると思う。
- ・杉並区では、公立の学校でもNPOの支援を受けながら職業体験を行う等、全国でも珍しい活動を行っている。教育に対し企業が積極的に関わり、ビジネスになるよう杉並区も支援を行っている。
- ・現在の荻窪駅周辺には不動産業が多いものの、不動産業が荻窪独自の産業となるかどうかは疑問だが、単なる賃貸ではなく、高齢者に対応したもの等とすれば、荻窪の新しい産業となるのではないか。
- ・他に類を見ない交通利便性の良さがあり、人口も多いというポテンシャルの高い土地であるが、規模の大きい企業が立地するかどうかというと、あまり可能性は高くないのではないか。
- ・老朽化しているビルのオーナーは、ビルの建替えにあたり、建替え後のビルにテナントが入るかどうかを心配する。これから発展していく街というイメージがわからないと、建替えが進まず老朽化したビルばかりになってしまう。

●荻窪駅周辺で日常的に不便だと感じること

- ・南口の一方通行路での空車タクシーの客待ちの列が長く、ひどい時は左側に一般車、右側に客待ちタクシーでバスが通れなくなるため、自転車や歩行者も多い時間帯は大変危険。
- ・環8から青梅街道荻窪方面へバスで行く際、曲がってすぐの信号が赤になっているため渋滞の原因となっている。
- ・駅や駅周辺でバスロータリーを横断する人が多いのは、歩行者が駅を利用する際に駅前を不便だと感じているからではないか。特に通勤・通学の急いでいる時間は非常に危険だと思う。
- ・北口も南口も歩道が狭く、通勤で人通りの多い中自転車がすり抜れたりして、非常に危険な思いを何度もしている。
- ・自転車のない歩きやすい街になるとよいと思う。

●荻窪駅周辺の特徴・イメージ

- ・ラーメン店は多いが他地域にもたくさん立地しており、特徴にならなくなっている。
- ・お年寄りの街というイメージ。
- ・荻窪駅には他地域にも立地しているルミネやタウンセブン以外に代表的な施設が

ないため、特徴がない街というイメージを持たれるのかもしれない。

- ・荻窪といえば、“タウンセブン”のイメージ。ビルの中に普通の商店が店を構えているのが面白いと思う。
- ・他地域から新規出店した方にとって、荻窪は余所者が入りにくい雰囲気があるようだ。
- ・高円寺駅では阿波踊り、阿佐ヶ谷駅では七夕祭りが開催されているが、荻窪駅には目玉となる祭がない。
- ・荻窪音楽祭等のイベントは実施しているものの、荻窪独自のものが少ない。高円寺駅の阿波踊りのように、荻窪に関連のないものでも、荻窪のものにしてしまうという発想もあるのではないか。
- ・学生時代は買物をする場所として、中央線沿線の駅のうち、高円寺駅や吉祥寺駅は選択肢としてあがるが、荻窪駅で買物しようとは思わなかった。20歳代の若者が買物に来たくなる場所ではないのかもしれない。
- ・あまり特長がないと思う。まちのイメージが湧かないのは、大学の最寄駅でないのが大きい要因だと思う。

●あるとよいと思う施設等

- ・駅の南北を往来するのに不便なので、お年寄りや小さな子供でも利用できるエスカレーター付きの歩道橋がほしい。
- ・南北に通る大きな通りがあってもよいと感じる。
- ・コミュニティバス等を活用して駅南北の行き来をしやすくすれば、高齢者の方は便利になるのではないか。
- ・駐輪場・駐車場が不足している。駅周辺における駐輪を禁止するのであれば、駐輪場を整備することが必要になると思う。
- ・ウィンドウショッピングを楽しめる街にしてほしい。
- ・研修等で遠路から来ている社員に紹介するホテルはいつも阿佐ヶ谷のため、駅前のわかりやすい場所に60名ほどを泊められるビジネスホテルがあると便利。
- ・小さなフレンチやイタリアンの店は多いが、ビジネスでよく利用されるような大人数が入れる高級料理店が少ない。
- ・パーティーの開けるレストランがあれば、「荻窪で泊まり飲もう」という企画も立てやすい。

●今後のまちづくりについて

- ・荻窪駅周辺の商店街にもっと活気があるとよい。
- ・居住者の所得レベルが高いことから、“教育と医療”に力を入れると良いと思う。今は駅前の塾がそれほど多くないが、“塾が多い街”にしていくのも良いのではないか。

交通の利便性が高く、比較的治安も良いため、他地域からも生徒が通ってくるような街になるかもしれない。

- ・ 駅を通らなくても南北に通ずる歩道橋、それも現存する歩道橋のようなものではなく、ペDESTリアンデッキスタイルにして東西南北を自由に移動できるようになればよい。そうすることにより、ショッピングやレジャー産業を招致出来、活気のある街となり、税収も増えるのではと思う。
- ・ バスターミナルを（南口、北口ともに）を2階建てにし、利便性を高めてほしい。
- ・ もう少し歩行者の目線でまちづくりをしてもらいたい。
- ・ お祭りなどまちおこしの行事を大々的にやって荻窪をPRしてほしい。